

平成 24 年度（上半期）河川レンジャー活動報告

平成 24 年 10 月

木津川管内河川レンジャー	山村 武正	(1 期生)
	福井 波恵	(4 期生)
	山田 信人	(6 期生)
	田中実知世	(6 期生)

(協力)

河川レンジャーアドバイザー	坂本 清
---------------	------

目 次

○山村河川レンジャー（上半期）活動報告

1. 平成 24 年度 活動とテーマと目的	1
2. 親子花見乗船体験	平成 24 年 4 月 8 日(日) 2
3. 春の野草調べ	平成 24 年 4 月 15 日(日) 4
4. 木津川春の花散策	平成 24 年 5 月 13 日(日) 6
5. レンリソウ観察会	平成 24 年 5 月 19 日(日) 8
6. 城陽キッズ魚とり出前授業	平成 24 年 6 月 2 日(土) 9
7. 木津川クリーンウォーク	平成 24 年 6 月 3 日(日) 11
8. 親子自然観察会	平成 24 年 7 月 1 日(日) 13
9. 親子で木津川で遊ぼう魚とり	平成 24 年 7 月 29 日(日) 14
10. 向島ツバメのねぐら入り観察会	平成 24 年 8 月 11 日(日) 16
11. 夏休み 1 番灯呂流し	平成 24 年 8 月 16 日(木) 18
12. 秋の木津川花散策	平成 24 年 9 月 15 日(土) 20

○福井河川レンジャー（上半期）活動報告

13. 平成 24 年度 活動とテーマと目的	21
14. タマリ調査（上半期 10 回）	平成 24 年 4 月～9 月 22
15. タマリモニタリング	平成 24 年 4 月 26 日(木) 27
16. 「古川いきもの探検」魚とり出前授業	平成 24 年 5 月 24 日(木) 29
17. 「古川いきもの探検」出前授業まとめ	平成 24 年 5 月 25 日(金) 31
18. 「親子川の学校 in 新川」出前授業	平成 24 年 5 月 26 日(土) 33
19. 第一回木津川ワークショップ	平成 24 年 5 月 27 日(日) 35
20. 「城陽キッズ魚とり」出前授業	平成 24 年 6 月 2 日(土) 37
21. 上狛川クリーン作戦	平成 24 年 7 月 14 日(土) 39
22. 第二回木津川ワークショップ	平成 24 年 7 月 22 日(日) 41
23. 「親子川の学校 in 和東川」出前授業	平成 24 年 8 月 5 日(日) 43
24. 第三回木津川ワークショップ	平成 24 年 9 月 2 日(日) 45

○山田河川レンジャー（上半期）活動報告

25. 平成 24 年度 活動とテーマと目的	47
26. 名木川水ウォッチング	平成 24 年 4 月 28 日(土) 48
27. 地域団体講演「環境フォーラム」出前講演	平成 24 年 5 月 1 日(火) 50
28. 「環境フェスタ in KYOTANABE」出前授業	平成 24 年 5 月 20 日(日) 51
29. 「古川いきもの探検」水質調査出前授業	平成 24 年 5 月 25 日(金) 52
30. 「城陽キッズ魚とり」水質調査出前授業	平成 24 年 6 月 2 日(土) 54
31. 宇治市環境展	平成 24 年 6 月 11 日(月)～15 日(金) 56
32. 「上狛川クリーン作戦」水質調査出前授業	平成 24 年 7 月 14 日(土) 57
33. 第三回山田川水ウォッチング	平成 24 年 7 月 24 日(木) 59
34. 「親子川の学校 in 和東川」水質調査出前授業	平成 24 年 8 月 5 日(日) 61
35. 第二回古川水ウォッチング	平成 24 年 9 月 15 日(土) 63

○田中河川レンジャー（上半期）活動報告

36. 平成 24 年度 活動とテーマと目的	65
37. 川の構造物見学会	平成 24 年 4 月 21 日(土) 67
38. 山城大橋ワンド継続調査(上半期 6 回)	平成 24 年 4 月～9 月 70
39. 初夏の野鳥観察会	平成 24 年 5 月 19 日(土) 76
40. 「京都大学角教授ゼミ」出前授業	平成 24 年 6 月 21 日(木) 78
41. 「水辺の安全講習会」出前授業	平成 24 年 7 月 18 日(水) 81
42. 「第二回木津川ワークショップ」出前講座	平成 24 年 7 月 22 日(日) 83
43. 「親子で木津川で遊ぼう魚とり」出前授業	平成 24 年 7 月 29 日(日) 85
44. 木津川源流探検	平成 24 年 8 月 19 日(日) 87
45. 初秋の野鳥観察会	平成 24 年 9 月 23 日(日) 89

○木津川河川レンジャー連携活動報告

46. 木津川クリーンアップ	平成 24 年 6 月 17 日(日) 91
47. 木津川市役所ロビー展示	平成 24 年 7 月 23 日(月)～28 日(土) 94
48. 「地域で考えよう防災」防災体験	平成 24 年 8 月 26 日(日) 96

○山村河川レンジャー（上半期）活動報告

1. 平成 24 年度 活動とテーマと目的

1.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする山村河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、15の活動を実施します。

活動テーマ

木津川を身近に

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
環境保全を図る活動	木津川の川調べ 活動①親子花見乗船体験 活動②親子自然観察会 （昆虫） 活動③川で遊ぼう 魚をとろう 活動④ツバメのねぐら入り 活動⑤自然観察会（植物） 木津川清掃 活動①全域 木津川植物モニタリング （全域）	①京田辺市の桜の名所としての地位を築きつつある馬坂川に農業用水路を活用し摂南大学や同志社大学生の皆さんと連携し、年間を通じた河川清掃を取り組みつつ輪を大きくして取り組む。 ②木津川堤防には917種の植物が生育し、絶滅危惧植物38種が確認される貴重な植物の自然保護活動。 この木津川の自然保護の観点から、自然を身近に接する機会として親子自然観察会を開催する。 ③木津川には生育する魚の種類も多く、堤防や河川敷の動植物の豊かさなど自然の姿を多く残している。しかし、川の汚れと、事故への危険から子どもたちを遠避けられていることもあり、川との関わりはますます少なくなってきた。このような現実の中、川で遊ぶことは、子どもたちにとって貴重な体験となり、川を愛し親しむ心を育てることで川を守り育てることにつながる。 ④近畿地方で最も多くのツバメが集中するのが観月橋の葎原だといわれている。 ツバメのねぐら観察会から自然の姿を知り、地球環境保全の必要性を理解されるきっかけとして開催する。

活動分野	活動名	活動目的
河川の適正な利用、歴史・文化の普及活動	木津川展（共同） 木津川ってどんな川 活動①木津川出前講座 活動②京田辺市文化祭 活動③京田辺市中部流域センター祭り 活動④京都府環境フェスタ 活動⑤防賀川を考える	<p>木津川の歴史や果たしてきた役割、現在の状況や姿は余りにも知る人が少ない。</p> <p>木津川の植物や魚、景観でも木津川を代表する場所等をスライドやポスター展示、水質調査体験などを取り入れる参加型の企画を検討し、木津川をPRする。</p>
防災の推進を図る活動	地域で考えよう防災 防災施設の見学会	<p>東日本大震災。それに引続く東京電力福島原子力発電所による放射能被害の発生、これらによって、発電や電力への関心が強くなってきている。</p> <p>様々な災害に備え地域で考えよう防災として洪水体験と地震体験を実施する。</p> <p>木津川には多くの排水機場が設置されている、こうした排水機の運転をテスト時に見聞することは貴重な体験でありその他喜撰山ダムと発電施設の見学を実施し、水利用の一面を学ぶ。</p>
	木津川沿川活動団体交流会 （共同）	<p>木津川とその支流流域で、昔のように綺麗で自然豊かな河川環境を取り戻す活動を行っている団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組について考え、相互の理解を深め、交流する機会を設けるために交流会を実施する。</p>

2. 親子花見乗船体験

・平成24年4月8日(日)

2.1 実施状況

活動名	親子花見乗船体験		
担当	木津川出張所管内	山村、山田、田中河川レンジャー	
開催日時	平成24年4月8日(日)9:00~15:40		
参加人数	参加総数	319名	
	一般参加者(延べ)	257名	Eボート203名、カヌー54名
	講師	1名	大植登氏
	協力スタッフ	60名	摂南大学エコシビル部15名、 府営田辺団地連合会34名、 やましり里山の会11名
	運営事務局	1名	
スケジュール	<p>9:00 開始</p> <p>9:15 ボートの準備</p> <p>9:20 河川航路の安全点検</p> <p>9:25 スタッフミーティングでの河川レンジャーから諸注意</p> <p>10:00 乗船体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付 ・河川レンジャーによるライフジャケット装着指導 ・乗船 <p>15:00 乗船体験終了</p> <p>15:10 府営田辺団地集会所で反省会</p> <p>15:40 終了</p>		
実施場所	<p>府営田辺団地・馬坂川</p> 		

2.2 事前活動

各種資料	自然再生と省エネルギー展示(団地事務局作成)
関係機関からの支援内容	<p>木津川出張所：案内チラシ印刷</p> <p>綴喜西部土地改良組合：農業用水路貯水</p> <p>京都府北土木事務所：馬坂川占用使用許可</p> <p>近鉄東商店街実行組合：</p> <p>摂南大学の協力によるEボート借用</p> <p>講師の協力によるカヌーの借用</p>
河川レンジャーの活動内容	馬坂川清掃作業 乗船用階段設置作業 実行委員会会議進行など事務方 チラシ配布 乗船名簿作成 摂南大学と打ち合わせ 諸団体への後援協力 依頼

2.3 活動状況



事前の馬坂川河川清掃（3月23日）



スタッフミーティングでの河川レンジャーから諸注意



ライフジャケット装着指導



乗船状況

2.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>いつも世話になって楽しい花見ができています 京田辺にこんな取り組みがあることは知らなかった。 桜が満開で大変美しい 河川レンジャーがやっているのを初めて知った。</p>
今後の課題	<p>会場となっている府営田辺団地の前の馬坂川を会場に地域の諸団体と連携・協力を行いながら取り組んで5年。年を追う毎に団地、周辺の方々の活動に対する理解や協力も増え、現在では団地の方々の多数のスタッフ協力を得ながら一緒に実施できるまでになった。</p> <p>この活動が実現したのは、地域連携を積極的に推進し、街づくり活動を行っている団地自治会はじめ、各支援をいただいた関係各団体の方々との素晴らしい人間関係の賜ものである。</p> <p>今年度でこの取り組みにおけるネットワークの基礎ができたと感じている。今後は地域が自立した形でよりネットワークを広げていき、この地域における活動の定着を進め、川づくり、まちづくりにつなげていきたい。</p>

3. 春の野草調べ 3.1 実施状況

・平成 24 年 4 月 15 日(日)

活動名	春の野草調べ		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 15 日(日) 9:30~12:45		
参加人数	参加総数	44 名	
	一般参加者	32 名	大人 23 名、子ども 9 名
	講師	1 名	湯川幸子氏
	スタッフ	10 名	山田・田中河川レンジャー、やましろ里山の会
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30 開始 10:10 河川レンジャーから活動の注意点について 10:10 講師から食草採取の注意点 10:50 食草としてのタンポポ採取 11:10 河川レンジャーの指導で火起こし体験 12:15 講師による採取食草の説明 12:45 終了		
実施場所	京田辺市草内・木津川運動広場 		

3.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
河川レンジャーの活動内容	コースと会場付近の下調べ 見つけにくいものを事前に参考採取する (見本の作成)

3.3 活動状況



河川レンジャーから活動の注意点について



講師から食草採取の注意点

3.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・良い天气に恵まれて、思い切りリラックスできた ・会場移動は面倒だったけれど、3度目の場所は貸切状況で落ち着いた
今後の課題	<p>会場変更を3度移動した 水やトイレなどを考えると適した場所は全くない。なかなか利用できない場所である。川は暮らしの中を流れるというが今の一般生活では、焼き肉パーティ会場程度の利用方法でしかないように見える。</p> <p>広い空間、緑豊かな草原、野鳥のさまざまなさえずり、どれをとっても心を癒してくれる素晴らしい自然が迎えてくれている。設備を整えると大勢の人が集中し一変させられるのかもしれない。そう考えると現状保存でいいのかもしれない。</p> <p>しかし、トイレの設置は何とかしてほしい問題だ。長くて広い河川敷で河川レンジャー活動を考えると、なくてはならない最低限度の設備である。</p>

4. 木津川春の花散策

・平成 24 年 5 月 13 日(日)

4.1 実施状況

活動名	木津川春の花散策		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 13 日(日) 9:30~12:00		
参加人数	参加総数	10 名	
	一般参加者	8 名	大人 8 名
	講師	1 名	やましる里山の会 伊藤千恵子氏
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開始	
	9:55	当日のウォーキングコースの説明	
	10:35	マキエハギほかの現地観察	
	10:55	木津川の桜堤にて堤防ほかの説明	
	11:45	城陽排水機場の治水機能について説明	
	12:00	終了	
実施場所	<p style="text-align: center;">近鉄寺田駅～桜堤堤防～城陽排水機場</p> 		

4.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
河川レンジャーの活動内容	事前調査 コースの下見 時間配分 説明ポイントの確認

4.3 活動状況



当日のウォーキングコースの説明



希少種マキエハギほかの現地観察



木津川の桜堤にて堤防ほかの説明



カラスノエンドウの茎には進化の過程が残されている話

4.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・詳しい地元の説明が良かった・マキエハギを初めて見られた
今後の課題	下調べのスピードと当日のずれがあって時間が足りなかった。 事前案内をもう少し早く行っていくこと

5. レンリソウ観察会

・平成 24 年 5 月 19 日(日)

5.1 実施状況

活動名	レンリソウ観察会		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 19 日(日) 9:45~12:30		
参加人数	参加総数	24 名	
	一般参加者	23 名	大人 23 名
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:45	開始	
	10:00	レンリソウ観察会ルート・資料説明、参加者自己紹介	
	10:30	木津川の川の歴史や管理などについて説明（内排水について等）	
	10:45	木津川の砂について（砂の利用や木津川の河床や地形の話）	
	11:30	レンリソウ自生地を観察	
	12:10	絶滅危惧種・イタセンパラの生息、現状についての説明	
	12:30	終了	
実施場所	近鉄新田辺駅～木津川の堤防		
			

5.2 事前活動

各種資料	木津川の主な希少植物と残したい草花たちと魚・蝶（図表） 里山の風にふかれませんか（冊子） 木津川クリーンアップ案内チラシ 朝日新聞掲載情報（レンリソウ観察会・野鳥観察）
関係機関からの支援内容	特になし
河川レンジャーの活動内容	事前の下見 かなり注意したが、開花には至らなかった。 チラシと資料の作成、印刷 配布

5.3 活動状況



木津川の砂について（砂の利用や木津川の河床や地形の話）



絶滅危惧種イタセンパラの生息、現状についての話

5.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川がこれだけ豊かな植物が生育している所だとは知らなかった。 ・開花しているところを見計らって、もう一度来てみる ・樋門や内排水問題を初めて知った。
今後の課題	開花時期に合わせて実施できればいいのだが、参加者への連絡方法を集約しておけば、後日お知らせができる。かなり手間なのだが改善したい。

6. 城陽キッズ魚とり出前授業

・平成24年6月2日(土)

6.1 実施状況

活動名	城陽キッズ魚とり出前授業		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月2日(土) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	30名	
	一般参加者	20名	大人7名、子ども13名
	協力スタッフ	7名	山田・福井河川レンジャー、伊藤千恵子氏、伊藤氏、豊島氏、深田氏、針川氏
	城陽市職員 運営事務局	2名 1名	原氏、森田氏(城陽市教育委員会)
スケジュール	9:00	開始	
	9:55	スローロープの講習	
	10:00	魚とり網の構造の説明	
	10:20	魚とり網の使い方	
	12:00	植物について講師から説明	
	12:10	木津川の河床低下について説明	
	12:30	終了	
実施場所	山城大橋右岸 		

6.2 事前活動

各種資料	木津川ってどんな川?(やましろ里山の会)、アンケート用紙、木津川クリーンアップ(6月17日告知)、山田川水ウォッチング(7月24日告知)、河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	木津川出張所:河川レンジャーニュースの提供
河川レンジャーの活動内容	事前打ち合わせ 数回 現地 協力河川レンジャーへの諸連絡 現地の通路などの草刈り

6.3 活動状況



スローロープの講習



魚とり網の使い方 魚とり網の使い方



植物についてスタッフから説明



木津川の河床低下について説明

6.4 意見・課題

参加者からの意見	知らないことを教えてもらってよかったと感想をいただいた。
今後の課題	<p>城陽市教育委員会から丁寧なお礼状があった 市教委の担当者に木津川の特徴や山城の川との関連を丁寧に事前説明をした子どもたちや保護者は、木津川がこんなに自然豊かな川であるとは想像をしていなかった。 城陽市の先例にならっていただき、各自治体が年に度はこうした機会を持っていただきたい。 各自治体が年に1度は計画していただけるよう働きかけたい。</p>

7. 木津川クリーンウォーク

・平成 24 年 6 月 3 日(日)

7.1 実施状況

活動名	木津川クリーンウォーク		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 6 月 3 日(日) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	13 名	
	一般参加者	7 名	大人 4 名、子ども 3 名
	協力スタッフ	5 名	深田氏、豊島氏、黒光氏、伊藤氏夫妻(やましる里山の会)
	運営事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始	
	10:20	河川レンジャーから活動上の注意	
	10:50	参加者のクリーンウォーク	
	11:20	不法投棄ごみの収集	
	11:55	当日収集ごみを集積	
	12:00	終了	
実施場所	上流側：山城大橋まで、下流側：手原川まで		
			

7.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	木津川出張所：鉄の貸し出し ゴミ袋の提供 収集ごみの撤収
河川レンジャーの活動内容	チラシの作成 配布 イベントへの参加案内のポスター作成 コース上に掲示 撤去 収集ごみの集約 あと始末完了の点検

7.3 活動状況



参加者のクリーンウォーク



不法投棄ごみの収集



車寄せに散乱するゴミ



当日収集ごみの集積場 当日収集ごみの集積場

7.4 意見・課題

参加者からの意見	二つに分かれての作業は毎年実施で、変化があってよい。大型ごみは年々少なくなっている。ポイントでは、必ず放棄されている。
今後の課題	ごみ拾いに集中してウォーキングや河川美化の意義などについて語り合う時間が計画されていなくて、流れ解散になっている。河川レンジャーが実施する目的をつたえられる企画が必要ではないだろうか。改善したい。市の一斉清掃日と重複しない日程調整が必要。

8. 親子自然観察会

・平成 24 年 7 月 1 日(日)

8.1 実施状況

活動名	親子自然観察会		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 7 月 1 日(日) 9:30~11:30		
参加人数	参加総数	10 名	
	一般参加者	9 名	大人 8 名、子ども 1 名
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開始	
	10:05	会場設営準備	
	10:05	鳥の声の発生器にて学習	
	10:10	資料の配布	
	10:35	参加者と質疑応答	
	11:30	終了	
実施場所	京田辺市せせらぎホール 京田辺市草内美泥 22-2		

8.2 事前活動

各種資料	木津川の植物、イタセンパラ資料
関係機関からの支援内容	木津川出張所：チラシの印刷
河川レンジャーの活動内容	チラシ作製と配布 コースの下見 ポイントの調査など 雨天時の対応 スライドの作成など

8.3 活動状況



資料の配布



参加者と質疑応答

8.4 意見・課題

参加者からの意見	これまでの取り組みで、子どもさんがすっかり木津川での取り組みが楽しくて、フアンになってくれた。魚とりも楽しみにしているとの意見があった。
今後の課題	予想通り雨天だったので、室内でのデスクワークになった。 木津川についての一冊の冊子が用意されていると、資料作成の手間が省ける。作成しておくべきだろう

9. 親子で木津川で遊ぼう魚とり

・平成 24 年 7 月 29 日(日)

9.1 実施状況

活動名	親子で木津川で遊ぼう魚とり		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 7 月 29 日(日) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	199 名	
	一般参加者		166 名
	協力スタッフ		31 名
	淀川河川事務所 運営事務局		1 名 1 名
スケジュール	9:00	開始	
	9:15	会場の安全対策・柵の設置	
	9:55	河川レンジャーによる開会と活動の注意事項	
	10:05	河川レンジャーによるライフジャケット装着の徹底	
	10:25	水路での魚採り	
	11:35	魚合わせ(出現種の確認)	
	12:00	終了	
実施場所	山城大橋下流		

9.2 事前活動

各種資料	里山の風に吹かれてみませんか、魚リスト、河川レンジャーNEWS
関係機関からの支援内容	京田辺市教育委員会の後援 市内小学校へのチラシ配布 国土交通省：ミストの準備
河川レンジャーの活動内容	会場通路などの草刈り 会場確保 増水に会場ワンドの点検下見 チラシ増刷 要員依頼と確保 備品など借用物の依頼と借りだし及び返却 受付名簿作成と印刷

9.3 活動状況



河川レンジャーによるライフジャケット装着の徹底



魚採り会場の全景(上流から下流方向)



水路での魚採り



スタッフによる外来魚解剖授業

9.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい取り組みであった。 ・熱心な方々であり、河川レンジャーさんを初めて知った。 ・昨年落選したので、今年な何としても当選させていただきありがとうございます。
<p>今後の課題</p>	<p>参加者が殺到するので、広く公募する地域を京田辺市域と限定して取り組んだが、昨年同様の応募があった。</p> <p>かなり要望が強く、地域限定方式を採用したが、これでは多くの子どもたちの川に親しむチャンスが制限されることになる。</p> <p>応募者数が多数のため、もっと開催回数を増やしたい。</p> <p>しかし、スタッフの確保、安全は会場の確保など課題は山積している。何よりも、ライフジャケットの大量備蓄なしには手が出せない。個数確保が必要である。</p> <p>この夏は特に熱中症対策の必要性を痛感した。冷水の確保 ミストの増加。扇風機の確保などである。また簡易で扱いやすく大型で高さがある程度必要な大型テントがなくてはならない備品である。</p> <p>前日準備や当日朝早くからの準備、催しの最中の気の抜けない安全確保や監視、終了後の後始末と、終日働いていただいている。こうした有志への扱いは何にもない。弁当も飲み水なども自前となると、毎年依頼することはできない…せめて当日の昼食ぐらいの経費は出せないのだろうか。</p>

10. 向島ツバメのねぐら入り観察会

・平成 24 年 8 月 11 日(日)

10.1 実施状況

活動名	向島ツバメのねぐら入り観察会		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 11 日(日)16:00~19:45		
参加人数	参加総数	9 名	
	一般参加者	6 名	大人 5 名、子ども 1 名
	協力スタッフ	2 名	坂本河川レンジャーアドバイザー他
	運営事務局	1 名	
スケジュール	16:00	開始	
	16:40	巨椋の根拠となった椋(むく)の木と参加児童	
	17:10	西目川の生きもの観察	
	17:45	坂本河川レンジャーアドバイザーが解説者として参加	
	19:15	ツバメのねぐら入りを観察	
	19:45	終了	
実施場所	近鉄向島駅~向島のヨシ原		
			

10.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
河川レンジャーの活動内容	コースの下見 雨天の場合の対応 解説案内者に坂本河川レンジャーアドバイザーに依頼する

10.3 活動状況



巨椋の根拠となった 250 年生の椋(むく)の木と参加児童による測定



西目川の生きもの観察



坂本河川レンジャーアドバイザーが解説者として参加



ツバメのねぐら入り

10.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川堤までの約1時間30分間に目につくものについていろいろお話を聞いた。いずれも初めての話だったので、大変良かった。 ・新聞での案内記事を見て参加した。 ・一度見たかったのが新聞案内で知り参加した。
今後の課題	<p>坂本さんには大変世話になった。特にお連れさんがフィールドスコープでねぐら入りの場面吉原の中の様子に焦点を当てて紹介していただいたのが大変印象的だった。</p> <p>来年はフィールドスコープを用意して、内容充実を図る。広く参加案内をしたい。</p>

11. 夏休み 1 番灯呂流し

・平成 24 年 8 月 16 日(木)

11.1 実施状況

活動名	夏休み 1 番灯呂流し		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 16 日(木) 16:00~20:00		
参加人数	参加総数	28 名	
	一般参加者	19 名	大人 6 名、子ども 13 名
	協力スタッフ	6 名	京田辺市田辺府営団地連合自治会長 ほか 3 名、 大植氏、菊池氏(やましろ里山の会)、
	京都府職員	1 名	京都府山城北土木事務所
	その他	1 名	京田辺市機関紙記者、
運営事務局	1 名		
スケジュール	<p>16:00 開始</p> <p>17:05 河川レンジャーによる会場整備</p> <p>17:15 会場の整備全景</p> <p>17:30 参加者による灯ろうの絵の作成</p> <p>18:50 記者(京田辺市機関紙)の取材</p> <p>19:00 灯ろう流し</p> <p>19:15 来場者による水槽魚類の観察 (灯呂は下流にて回収)</p> <p>20:00 終了</p>		
実施場所	<p>京田辺市防賀川</p>		

11.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの 支援内容	特になし
河川レンジャーの活動 内容	防賀川の清掃 チラシの作成配布 用具の点検と補充 水のせき止めと撤去 事前下調べ 数回

11.3 活動状況



会場の全景



参加者による灯ろうの絵の作成



記者(京田辺市機関紙)の取材



灯ろう流し

11.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・この日の夜は、市民有志による花火の打ち上げがあり、出足と引き足がすく速かった。 ・孫がお盆で帰ってきたので 良い思い出が作れた
今後の課題	<p>夜間の実施ではあるが、今回の規模での実施で安全管理等無理がなく実施できた。そういう所から、同取り組みは今回の規模が適当である感じた。</p> <p>河川に係わる文化啓発の取り組みとして長く継続して実施いくことが大切であると感じ、継続できるように地域との調整等をしていかないといけない。</p>

12. 秋の木津川花散策

・平成 24 年 9 月 15 日(土)

12.1 実施状況

活動名	秋の木津川花散策		
担当	木津川出張所管内	山村河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 9 月 15 日(土) 9:00~16:30		
参加人数	参加総数	4 名	
	一般参加者	3 名	大人 3 名
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:15	絶滅危惧植物生育一覧の確認	
	12:00	山城大橋～レンリソウ生育地確認 カワラナデシコ スズサイコ確認	
	14:00	精華町 煤谷川スズサイコ新生育地確認	
	15:00	木津川市加茂 オオバクサフジ確認 ヒメギボウシ等確認	
	16:00	木津川右岸生育地確認 ヒキヨモギ マキエハギの確認 など	
	16:30	終了	
実施場所	木津川右岸 1.6km～30.6km、左岸 2.0km～29.6km 堤防		

12.2 事前活動

各種資料	木津川の絶滅危惧植物生育一覧表(部外秘資料:やましる里山の会作成)
関係機関からの支援内容	特になし
河川レンジャーの活動内容	スケジュールのとおり

12.3 活動状況



絶滅危惧植物生育一覧の確認



現地確認作業



タヌキマメ生育地標柱



京田辺市の湿地跡地を確認

12.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・一挙に木津川の 82 カ所の生育地を確認できるなんてまるで夢のようだ ・これだけ多くの場所での保全管理はたいへんでしょね。
今後の課題	<p>木津川の希少植物の保全管理等に関心を持ってくれる人が長年見つからなくて苦労してきたが、この都度やっと深く関心を持っていただけの方が見つかって、何が何でも 82 カ所の案内から始めました。参加人数は少ない方が行動が容易なので、広報は行わなかったが、植物関係の後継者が育ってほしいものである。</p>

○福井河川レンジャー（上半期）活動報告

13.平成 24 年度 活動とテーマと目的

13.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする福井河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、10の活動を実施します。

活動テーマ

木津川流域の自然観察、体験活動、クリーン活動、展示会、交流会を通して様々な団体と連携を深め、木津川の環境を良くしていこうとする人々を育てる。

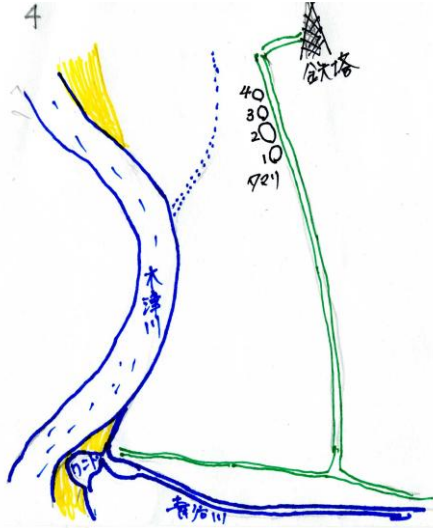

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	活動1 親子川の学校 3回 活動2 上粕川クリーン作戦 活動3 木津川クリーンアップ（共同） 活動4 木津川モニタリング	本年度は規模を適正にして引き続き親子川の学校を開催し、川の美化、生き物調査、水質検査を行い、川を愛する親子とスタッフを育てていきたい。 上粕川クリーン作戦として、ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査・水質調査を今年度も内容を工夫しながら実施していきたい。 なお「上粕川クリーン作戦」は、昨年同様山田、福井との共同の企画である。 木津川の河床低下が進行し、高水溜りが消滅したり、水位が低くなって環境が悪くなり生物が生息しにくくなる状況が目立っている。今後も河床低下が進むことが予想され、溜りの状態を継続観察し、溜りの保全に役立つよう記録を残しておく、また、ゴミなどの撤去も行い溜りの環境保全に努める。
河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動	活動5 木津川市環境祭り 活動6 木津川展（共同） 活動7 木津川マラソン 河川レンジャー展（共同） 活動8 出前授業	木津川市環境祭りへの参加も4回目となり今年も、環境祭りを通して木津川環境、歴史・文化を普及しながら、主体的に活動に参加する仲間を増やしていきたい。 小学校の総合学習、クラブ活動やPTAの活動、木津川に関係した学習・ワークショップ、木津川の文化・歴史・自然調べが計画されており、河川レンジャー活動と木津川への理解を広げていく上でも地域教材を開発し、出前授業を積極的に進める。
行政と住民のコーディネート	活動9 木津川沿川活動団体交流会（共同）	木津川とその支流流域で、昔のように綺麗で自然豊かな河川環境を取り戻す活動を行っている団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組について考え、相互の理解を深め、交流する機会を設けるために交流会を実施する。
川づくりまちづくりへの参画活動	活動10 木津川ワークショップ	木津川は、年々河床低下の進行により、沿川活動団体交流会を通じて、学習、交流する中で木津川の環境が年々悪化していることも分かってきた。 「生き物と人にやさしい水辺作り」を目指してワークショップを行い、地域住民と一緒に考える。

14. タマリ調査（上半期 10 回）

・平成 24 年 4 月～9 月

14.1 実施状況

活動名	タマリ調査（上半期 10 回）		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 21 日（土） 平成 24 年 4 月 26 日（木）報告書別紙 平成 24 年 5 月 27 日（日） 平成 24 年 6 月 2 日（日）報告書別紙 平成 24 年 6 月 9 日（土） 平成 24 年 7 月 7 日（土） 平成 24 年 7 月 10 日（火） 平成 24 年 7 月 28 日（土） 平成 24 年 8 月 23 日（土） 平成 24 年 9 月 2 日（日）報告書別紙		
参加人数	参加総数	自由参加メンバー	25 名
	参加者	自由参加メンバー	15 名
	河川レンジャー	福井河川レンジャー	10 回のべ 10 名
実施場所	山城大橋下流右岸タマリ  		

14.2 事前活動

各種資料	平成 24 年 4 月 26 日(木)は報告書別紙のとおり 平成 24 年 6 月 2 日(日)は報告書別紙のとおり 平成 24 年 9 月 2 日(日)は報告書別紙のとおり
関係機関からの支援内容	平成 24 年 4 月 26 日(木)は報告書別紙のとおり 平成 24 年 6 月 2 日(日)は報告書別紙のとおり 平成 24 年 9 月 2 日(日)は報告書別紙のとおり

<p>河川レンジャーの活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 4 月 21 日(土) <ul style="list-style-type: none"> タマリ 1・・・泥が溜り水質も悪く生き物の生息に適していない。クサガメぐらいしかいない。 タマリ 2・・・タマリとして一番安定している。 タマリ 3・・・環境がよくなってきている。 タマリ 4・・・水量が多い時は 3 のタマリと一つになるが一番干上がりやすい。 <p>洪水時には下流の低い浜の方から浸水してタマリ付近は大きな池になってしまう。しかし、6 月 19 日の台風 4 号の洪水で水衝部の辺りが削られ河川敷に向けて水が流れこんでいった。水道ができたので増水するたびに上流からタマリに水が流れ込み、タマリのかく乱の回数が増えると予想される。</p> ・平成 24 年 4 月 26 日(木)報告書別紙 <ul style="list-style-type: none"> 2 のタマリでトンガリササノハガイとイシガイを採集するが、水量が多いので魚調査はできなかった。何が入っているかは予測もつかず終わる。 ・平成 24 年 5 月 27 日(日) <ul style="list-style-type: none"> 計測棒のある所は水深 10 センチほどで緑色の藻が繁殖しており、すくってみるとオイカワの稚魚がとれた。ところが中央部あたり水が異様に茶色に濁っているので入ってみると、80 cm 台のコイが多数、深いところに集まり動き回っていることが分かった。晴天続きで水位はさらに下がりタマリが干上がる可能性もあるので、コイを救い出して木津川に流すことにする。橋の下で遊んでいた大学生に応援してもらいコイ 6 匹 ナマズ 2 匹を木津川に放流する。4 月の木津川の水位が上がった時に産卵のためにタマリに入り込んだのだと思われる。 2009 年にはタマリ 2 にたくさんのコイが入ったのだが、今年は 3 のタマリに取り残されたのか。 ・平成 24 年 6 月 2 日(日)報告書別紙 <ul style="list-style-type: none"> 山城大橋の下のワンドで城陽市教育委員会生涯学習課の「川で遊ぼう、川で学ぼう」の取り組みをやましろ里山の会と一緒にやる。里山の会の方に協力してもらいタマリからコイ 10 匹、フナ 5 匹、ナマズ 4 匹を救い出して参加者が観察した後、本流に放流する。 ・平成 24 年 6 月 9 日(土) <ul style="list-style-type: none"> 梅雨に入ると木津川の水位が上がったので、山城大橋河川敷タマリの様子を見に行く。水位はおどろくほど上がり、溜りに残っていたコイはいなかった。3 のタマリでタイリクバラタナゴ、コイ、フナ、オイカワの稚魚がとれる。3 のタマリが繁殖場所になったようだ。 ・平成 24 年 7 月 7 日(土) <ul style="list-style-type: none"> 住民センター「せせらぎ」の帰り道、橋の上から山城大橋ワンドと溜りの観察をする。すごい水量で(高山ダム 280 トン放流)ワンドは水没。タマリのある場所も川となり、河川敷きの路も水没していた。こういう攪乱がタマリやワンドを活性化するらしいのだが。ワンドやタマリには魚達が避難したのだろうか。 	
--	--

・平成 24 年 7 月 10 日(火)

7 月 7 日の洪水は、水衝部の部分を激しく削り、タマリのある河川敷きに流れこみ、水道を作っていた。

今までは下流から水が浸入することが多かったのだが、今後は上流から入ってくるようになるかもしれない。タマリのかく乱の頻度も増える可能性がある。

タマリがどのような変化を起こすのか、継続観察をしていく必要がある。

・平成 24 年 7 月 28 日(土)

3 のタマリ

以前コイのいた辺りをサデアミですくうと、クサガメ、ブラックバス、フナ、オイカワが入る。大きくなっていて、4、5 月に産卵された物が育ったのか。それとも、洪水の時、避難してきたものか。短時間しか調査しなかったが、結構たくさんいる事が分かる。

・平成 24 年 8 月 23 日(土)

連日の暑さでお湯のようになっているが、14 日の府南部ゲリラ豪雨もあって水量は増えていて、深いところで 45 cm、ショウブのある浅いところで 17 cm ほどである。タコノアシの花も咲き始めている。10 回ほどサデアミですくうと ブラックバス 2 匹、カネヒラ 1 匹、タイリクバラタナゴ 1 匹 がとれる。

3 のタマリに魚がたくさんいると思って入ったのだから、なにもとれなかった。動いているのはアメンボウばかり。

4 のタマリは浅く小さいのだが、フナ、オイカワ、モツゴがとれた。


3 のタマリで何もとれないのが不思議だ

・平成 24 年 9 月 2 日(日) 報告書別紙

第 3 回木津川ワークショップ タマリ調査 小川力也氏と共に。親子 20 人 水位はふえている。

【生物調査結果】

山城大橋下流ワンド			
観察地点	①のタマリ	②のタマリ	③④のタマリ
4 月 21 日		ヒメタニシ ドブガイ イシガイ カラシナ	
4 月 26 日		トンガリササノハガイ、	
5 月 27 日		タコノアシ	オイカワの稚魚、コイ 6 匹、ナマズ 2 匹
6 月 2 日	コイ 10 匹、フナ 5 匹、ナマズ 4 匹、ギンブナ (30 cm)		
6 月 9 日			タイリクバラタナゴ、コイ、フナ、オイカワの稚魚
7 月 7 日			
7 月 10 日		シオカラトンボ	(タマリ 2)
7 月 28 日			(タマリ 3) ブラックバス、フナ、オイカワドブガイ、イシガイ、クサガメ、タコノアシ (タマリ 4) ドジョウ、オイカワの稚魚、クサガメ、
8 月 23 日		ブラックバス 2 匹、カネヒラ 1 匹、タイリクバラタナゴ 1 匹 ドブガイ、タコノアシ	(タマリ 4) フナ、オイカワ、モツゴ

9月2日		
①のタマリ	②のタマリ	③④のタマリ
アメリカザリガニ、コイ・フナ	ブラックバス（6匹）、フナ・コイ・ニゴイ・オイカワ稚魚（2cm） カネヒラ1（オス）	スゴモロコ・フナ・ヘラブナ・コイ・モツゴ・カワムツ・ズナガニゴイ
採取観察	イシガイ 50個（2、3年ぐらいの若い貝・・・イタセンパラが繁殖に使う）、ドブガイ2、トンガリササノハガイ1 シジミ、マルタニシたくさん	マルタニシ  イシガイ
貝もいなくて水質も悪い。底は泥・ヘドロ	一番安定したタマリ 緑藻は発生しなくて、石が茶色っぽい珪藻が付着しているのかも？ 底は、小石、周辺に砂が堆積している。	③では緑藻が大発生。砂が無なり若い二枚貝が見当たらない。④に砂が入りタマリも小さく浅くなった。底は小石、砂がほとんどない。

14.3 活動状況

平成24年4月21日（土）



2のタマリで採集したドブガイは12cmほど。4、5cmのイシガイ4個

平成24年5月27日（日）



タマリ2のタコノアシ タマリ3、4

平成24年6月9日（土）



3のタマリ

平成24年4月26日（木）



1のタマリ タマリ3、4は完全に一つ

平成24年6月2日（日）



ギンブナ（30cm）

平成24年7月7日（土）



○の辺りがタマリの場所

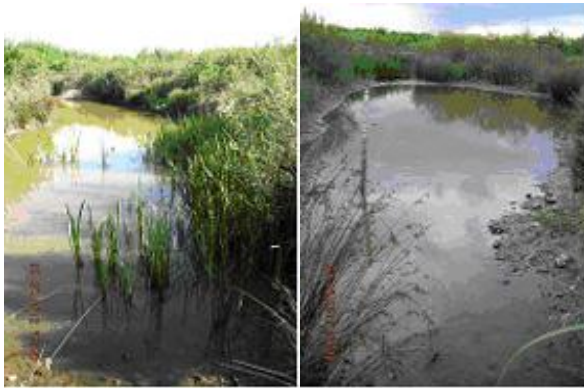
平成 24 年 7 月 10 日 (火)



1 のタマリ

水の流れた跡

平成 24 年 8 月 23 日 (土)



2 のタマリ

3 のタマリ

平成 24 年 7 月 28 日 (土)



2 のタマリ

4 cm ほどのイシガイ

平成 24 年 9 月 2 日 (日)



②のタマリ

14.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし



15. タマリモニタリング

・平成 24 年 4 月 26 日(木)

15.1 実施状況

活動名	タマリモニタリング		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 26 日(木) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	5 名	
	淀川河川事務所 運営事務局	4 名 1 名	
スケジュール	10:00	開始	
	10:05	山城大橋下流右岸のワンドウォッチング	
	10:15	下流右岸のタマリウォッチング	
	11:05	飯岡地先にてアメリカナマズの確認状況の説明	
	12:00	終了	
実施場所	京田辺市山城大橋右岸～玉水橋左岸		
			

15.2 事前活動

各種資料	アメリカナマズ資料
関係機関からの支援内容	なし
河川レンジャーの活動内容	<p>4 月 21 日 タマリの下見をする。 水位が多く魚調査はできなかったが、二枚貝を確認する。 ②のタマリの側に野菜の廃棄物がすててあり回収する。 カワニナはタマリに入っていたニンジンにくっついていて、エサになるのか？</p> <p>①のタマリ ②のタマリ ③のタマリ ④のタマリ</p> <p></p> <p>②のタマリ ②のタマリ ③④のタマリ</p> <p></p> <p>水位が高く水路で③のタマリと繋がっている。 ③のタマリも④のタマリと一つになっている。 ②のタマリでドブガイ(10 cm) イシガイ(3 cm)を確認。 4 月 26 日当日 水位が高いのでワンド、タマリの状態を観察することにした。</p>

15.3 活動状況



山城大橋下流右岸のワンドウォッチング



下流右岸のタマリウォッチング

15.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山城大橋下流右岸のワンド・青谷川下流のワンドには二枚貝が多くいたが泥がたまるにつれ減ってきた。今回の洪水で泥が流され、砂がふえているので二枚貝にとってはいい環境になったのではないか。木津川にはまだいいタマリやワンドが沢山ある。 ・河川敷のアカメ柳の「彦生」をこまめに切っていくことで木を大きくしないようにしたい。砂州、河原が変化しているので航空写真を残していく必要がある。 ・タマリを一般の方に公開し調査することは、問題ないと思うが小川先生と相談して決めてもらえばよい。多くの方に見てもらってタマリについて考えてもらう事が大切だ。
<p>今後の課題</p>	<p>(成果)</p> <p>タマリ、ワンドを環境課の方、アジア航測の方と一緒に観察したことでお互いが考えていることの意味疎通ができたことが一番の成果である。これから相談したり、我々住民の思いを伝える事ができやすくなった。</p> <p>(課題)</p> <p>一月一回は調査してタマリの变化、生き物の様子を調べタマリの環境を明らかにしていく。</p>

16. 「古川いきもの探検」魚とり出前授業

・平成24年5月24日(木)

16.1 実施状況

活動名	「古川いきもの探検」魚とり出前授業		
担当	木津川出張所管内	福井・山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月24日(木) 13:30～15:30		
参加人数	参加総数	57名	
	学校参加者	56名	校長・教師2名、4年生2クラス 53名
	運営事務局	1名	
スケジュール	13:30	開始	
	13:45	カメ外来種など活動上の諸注意	
	13:50	古川の野外現地への移動	
	14:20	自然観察と魚とり	
	15:00	魚合わせ(出現種の確認)	
	15:30	終了	
実施場所	城陽市古川小学校～古川		
			

16.2 事前活動

各種資料	魚・生きもの集計表、メダカとカダヤシのちがいはどこでしょう(河川レンジャー作成レジュメ)、水・・・調べてわかる数の見方(河川レンジャー作成レジュメ)、河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	木津川出張所より資料印刷
河川レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 5/16(水)3:00～4:30 古川での下見魚調査 (コイ、フナの稚魚たくさん カダヤシ アカミミガメ、クサガメ) 浚渫されていて深みがなく稚魚はいるが 成魚がとれない。コイの大きいものは泳いでいるが捕れる状態ではない。以前より魚が減っている。下流の深みには立派なフナがとれる。魚には深みが必要。 5/17 5:00～ 古川小の4年担任と山田R・福井と打ちあわせをする。 5/24 古川小での出前授業・魚とり ウシガエルは子どものいないところで処理する。 当日の様子 古川での魚とりを楽しみにしていた子ども達は、ずぶぬれになって魚とりを楽しみ、翌日の水調べ・魚と古川の話も意欲的に取り組んだ。毎年4年になったら古川探検をすることを見ているので、楽しみにしているとのこと。

16.3 活動状況



自然観察と魚とり



河川レンジャー指導による魚とり

16.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚はいないと思っていたのに色々いてびっくりした。魚とりはおもしろい。 ・初めてカメを捕まえられたので嬉しかった。ウシガエルは大きいのでびっくりした。 ・魚は深いところや、草のあるところにいるのだなと分かった。大きい鯉が網に入った時は、本当にびっくりした。すごいなと思った。 ・ゴミが沢山あってゴミをほかしたらあかんと思った。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達はきたない川でも喜んで魚とりをしていた。友達と協力してカメをとった子ども達は、はじめての体験だったらしい。今の子ども達は、こういう体験をしているのは、ほんの一部だけなので、学校の出前要請がある限り出向いていきたい。 ・古川小以外の出前授業を広めていく。

17.「古川いきもの探検」出前授業まとめ

・平成24年5月25日(金)

17.1 実施状況

活動名	「古川いきもの探検」出前授業まとめ		
担当	木津川出張所管内	福井・山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月25日(金) 14:00～16:00		
参加人数	参加総数	57名	
	一般参加者	56名	校長・教師2名、4年生2クラス 53名
	運営事務局	1名	
スケジュール	14:00	開始	
	14:35	古川の鳥たちの展示	
	15:00	古川ってどんな川の講義	
	15:00	児童からの質疑と応答	
	15:35	アンケートの記入	
	15:45	児童代表からお礼のメッセージ	
	16:00	終了	
実施場所	城陽市古川小学校 城陽市上津屋境端 57 番地		

17.2 事前活動

各種資料	魚・生きもの集計表、メダカとカダヤシのちがいはどこでしょう(河川レンジャー作成レジュメ)、水・・・調べてわかる数の見方(河川レンジャー作成レジュメ)、河川レンジャーNews20 「古川と魚達」ppt 作成
関係機関からの支援内容	木津川出張所印刷物プリント
河川レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5/16(水)3:00～4:30 古川での下見魚調査 ・5/17 5:00～ 古川小の4年担任と山田R・福井と打ちあわせをする。 ・5/24 古川小での出前授業・魚とり ・5/25「古川と生き物達」の授業 ・「古川生き物探検」の学習で魚の飼育と観察を続けまとめるので魚がほしいと連絡を受ける。 6/2 古川小へナマズを届ける。 6/9 古川小へ魚・魚ポスターを届ける、

17.3 活動状況



水槽を観察する児童たち



古川の鳥たちの展示



古川ってどんな川の講義



児童からの質疑と応答

17.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・古川の水は魚のいる川だからきれいだと思っていたけど、きたないことを学びました。 ・とても楽しかったです。古川にどんな魚・生物がいるか、とてもよくわかりました。きたなくてもがんばって生きる生物にかんどうしました ・魚って外来種がいたなんてしらなかって今日まなんでわかりました。ブラックバスは、かつてはいけないなあとおもった。ふるかわは人こうてきにつくられたんだな。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の知りたいこと、先生のねらいに合わせた出前授業にしてい

18. 「親子川の学校 in 新川」出前授業

・平成24年5月26日(土)

18.1 実施状況

活動名	「親子川の学校 in 新川」出前授業		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月26日(土) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	89名	
	一般参加者	76名	大人30名、子ども46名
	協力スタッフ	12名	星加氏(やましる里山の会)、子どもと教育を語る会、「ららら・加茂」スタッフ
	運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始	
	10:15	河川レンジャーから川の学校の開講と生息種の説明	
	10:15	スタッフによる魚とりの実技指導	
	10:20	自然観察と魚とりの開始	
	10:25	採取した生物種の確認	
	11:20	魚合わせ(出現種の確認)と種の説明	
	12:00	終了	
実施場所	木津川市加茂新川		
			

18.2 事前活動

各種資料	サワガニ、カマツカの説明シート アンケート
関係機関からの支援内容	「ららら・加茂」による参加者募集、スタッフ集め、木津川出張所による資料、アンケートの印刷
河川レンジャーの活動内容	<p>5/10 「ららら・加茂」の田中道子さんと打ち合わせ。その後、新川の下見。</p> <p>5/22 新川 魚調査・・・マルガモらしきカモが遊んでいた。川岸で卵をひろう。マルガモが産んだ物らしい。カワムツ、ヨシノボリ。ドンコ、サワガニ。浚渫をして深いところが無いので魚はとても少ない。サワガニ、カマツカの説明シート、アンケート作成。</p> <p>5/26 新川の学校 終了後 反省会。</p> <p>当日の様子</p> <p>子ども達はお芋の苗さしを終わると各自川に入って遊びだし魚とりをしたくてたまらない状態。何回も参加している子供たちも多く、水も少ないので親も安心して見ている。保育園、低学年の子ども達が多く、小さな魚、エビでも大満足で魚とりを楽しんだ。しかし、浚渫をした後なので魚は今までで一番少なく、生き物が復活するにはしばらく時間がかかりそうだ。ドンコ、カマツカ、カワムツ、サワガニ、ヨシノボリ、ドジョウ、カワナ、ヤゴ、ヌマエビ を確認</p> <p>5/28 アンケート集約。「ららら・加茂」事務局にアンケート送付。</p>

18.3 活動状況



スタッフによる魚とりの実技指導



自然観察と魚とりの開始



採取した生物種の確認



魚合わせ(出現種の確認)と種の説明

18.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・砂をとってしまっていて川の魚が少なくなってしまっていて残念でした。魚を大切にすることは大事だと思います。 ・親子で川遊びをするときと違って友達と「あわっ 見つけた!こっちにいる!!」と大騒ぎしてたくさんの種類を見つける事、先生に見つけたことを教えてもらえたことは子供も親も楽しかったです。 ・普段、目にする事のない生き物にふれ、自然の中で遊ぶ楽しさを知ってくれと嬉しいです。 ・魚などがとれて楽しかった。 はじめはつめたかったけど、だんだんなれてきた。もっととおくまでいきたかった。 ・30 数年前は、夏休み中新川で魚とりをしていました。今は魚の数も少なくなりましたが、身近な所で川遊びが出来ることはすばらしいと思います
<p>今後の課題</p>	<p>保育園・幼稚園児から小学校低学年にぴったりの新川での川の学校も6年目になり、毎年話のテーマは変えているのだが、少しマンネリ化している。天井川なので治水や天井川の成り立ちはいつも教えていくことが大切。</p>

19. 第一回木津川ワークショップ

・平成24年5月27日(日)

19.1 実施状況

活動名	第一回木津川ワークショップ		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月27日(日) 8:30~13:00		
参加人数	参加総数	54名	
	一般参加者	42名	大人27名、子ども15名
	講師	2名	植田光弘氏(自然体験活動協議会インストラクター)、伊藤千恵子氏(やましり里山の会)
	協力スタッフ	8名	山村・山田・田中河川レンジャー、やましり里山の会: 深田氏、吉川氏、都留氏、原氏、長谷川氏、
	淀川河川事務所 運営事務局	1名 1名	
スケジュール	<p>8:30 開始</p> <p>8:55 山城大橋下の受付</p> <p>9:50 現地観察の開始</p> <p>10:10 講師による植物解説</p> <p>10:35 ワンドほかにいる生きものの説明</p> <p>11:20 せせらぎホールにて水質の講義</p> <p>11:40 木津川についてよい所悪いところについてのグループワーキング</p> <p>12:30 グループ発表</p> <p>13:00 終了</p>		
実施場所	<p>山城大橋下流~京田辺市立中部住民センター「せせらぎ」</p>		

19.2 事前活動

各種資料	やましり発見伝(朝日新聞記事集5月22日~26日)、木津川クリーンアップ(告知チラシ)、木津川の主な希少植物、アメリカナマズ資料、河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	木津川市出張所・・・チラシ、資料印刷、マジック、付箋などの準備、やましり里山の会・・・マジック、投網借りる、里山のホームページ掲載 京都・朝日・洛南タイムス・・・ワークショップの周知
河川レンジャーの活動内容	<p>現地下見 4回、チラシ作製、チラシの郵送、チラシの配布(城陽市コミセン、京田辺市図書館、せせらぎ、精華町駅通路)</p> <p>資料の作成 講師打合せ、参加者名簿、名札プレートづくり</p> <p>展示物資料作り タイムテーブル作成 スタッフ連絡、河川レンジャー打合せ</p> <p>当日の様子</p> <p>ワンドの水位が下がり魚調査をスタッフ以外の親子もすることになり、楽しんだ。植物観察も初めてであり野鳥、川観察と総合的に行い参加者はこの水辺の豊かさを堪能した。又、はじめてのマップ作りも新鮮で河川敷きの豊かさを共通認識できた。</p>

19.3 活動状況



講師による植物の解説



ワンドの他に生息する生きものの説明



木津川についてよい所悪いところについてのグループワーキング



グループ発表

19.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>大人の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が楽しそうにワンドで遊んでいる姿を見られて自然の中で遊べる場所があるのは良いなと思いました。ただしワンドなどは動く（できたり消えたり）物なので、人の都合がよい場所にずっと存在する物ではありません。何が木津川として良いのか考えさせられました。 木津川の良さが再発見できました。生き物（人間を含めて）の集まる場所でも人間は集まり方を考えないといけないですよね。子ども達には木津川の楽しみ方、付き合い方（危険を含め）を伝えていきたいなあ。子どもたちに安全で楽しい遊びを体験させてあげたいなあと思いました。 初めてワークショップ形式で川について語り合う機会を得ましたが、老若男女積極的に意見を出す姿が非常に新鮮で有意義でした。又参加したいです。 <p>子どもの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚がもっと増えたらいいのに。久しぶりに川に入ったから楽しかった。みんなもっと自然のことを考えてほしい。今日はとても楽しかったぞ!! いろんな人のいろんな見方が分かったり、木津川・わんどをもっと深く知れてよかった。魚がいっぱいいて楽しかった。
<p>成果と今後の課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めてのワークショップなのでまずは楽しいこと、木津川河川敷きの素晴らしい環境を共通認識することが目標であったが、達成できた。子どもが「色々な人の意見を聞いてよかった」という子ども自身の成長を実感した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイワイマップ作製と交流の時間が不足するので 30 分開始時間をはめて、時間を確保する。

20. 「城陽キッズ魚とり」出前授業

・平成24年6月2日(土)

20.1 実施状況

活動名	「城陽キッズ魚とり」出前授業		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月2日(土) 8:30~11:30		
参加人数	参加総数	28名	
	一般参加者	20名	大人7名、子ども13名
	協力スタッフ	5名	伊藤千恵子氏、伊藤氏、豊島氏、深田氏、針川氏
	その他	2名	原靖雄氏、森田奈緒氏(主催者城陽市教育委員会)
	運営事務局	1名	
スケジュール	8:55	開始 魚の泳ぐ場所づくり	
	9:50	ライフジャケットの装着	
	10:00	魚の採取	
	10:05	ギンプナの説明	
	11:00	砂洲やワンドの変化について	
	11:25	運び込まれたコイやナマズのリリース	
	11:30	終了	
実施場所	山城大橋右岸 		

20.2 事前活動

各種資料	木津川ってどんな川？(やましろ里山の会)、アンケート用紙、木津川クリーンアップ(6月17日告知)、山田川水ウォッチング(7月24日告知)、河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	城陽市教育委員会文化体育振興課・・・参加募集、受付、アンケート集約会場準備 河川レンジャー事務局・・・ライフジャケット、救助用ロープ やましろ里山の会・・・タモアミ
河川レンジャーの活動内容	城陽市教育委員会生涯学習推進課より出前依頼、打ち合わせと会場下見 魚とり下見調べ 水槽、ワンドとタナゴの話資料準備 当日朝、タマリのコイ、フナ、ナマズを救出してワンドの生けすに入れる。 当日 ・ライフジャケットの着用指導・救助用ロープの使い方・魚とり指導とワンド・砂州の話

20.3 活動状況



ライフジャケットの装着



砂洲やワンドの変化について

20.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>子どもの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コイがぬるぬるしていてとても大きくてびっくりした。深いところはこわかった。 ・木津川にこんなにいっぱい魚がいるとは思わなかった。魚やカメがとれて嬉しかったです。 ・コイの保護などすごく疲れる事もあったけど、魚をつかまえたりしてすごく楽しかったです。 ・いろいろな話をしてくれてすごく勉強になりました。すごく楽しかったです。 <p>保護者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が最初はこわごわだったけれど、徐々に魚と触れ合い楽しんでいる姿が見れてよかった。 ・普段子どもが経験できない魚とりの体験が楽しかったようです。ありがとうございました。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化体育振興課の「キッズスポーツ☆チャレンジ広場」でスポーツ以外の体験を子どもたちに経験させる企画は、今年で2回目ですが、川と言う自然、環境を考えていくためにも続けてほしい企画です。ただ、親が見ているという感じなので、親も一緒に体験してほしい。親も参加するよう勧めていきたい。 ・子どもが興味を持ちながら聞けるよう、木津川の特長・抱える問題と魚を関わらせた話を考えていく。

21.上狛川クリーン作戦

・平成24年7月14日(土)

21.1実施状況

活動名	上狛川クリーン作戦		
担当	木津川出張所管内 福井・山田河川レンジャー		
開催日時	平成24年7月14日(土) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	19名	
	一般参加者	16名	大人13名、子ども3名
	協力スタッフ 運営事務局	2名 1名	山田河川レンジャー・福井さえ子氏
スケジュール	9:00	開始	
	9:40	現地へ移動	
	9:55	スクミリンゴガイの駆除	
	10:15	地元保全会の活動と連携	
	10:25	魚とりによる生きものの採捕	
	12:10	魚合わせ(出現種の確認)	
	12:30	終了	
実施場所	上狛川～木津川市役所山城支所		

21.2事前活動

各種資料	上狛川ジャンボタニシ駆除5年間の取り組み、アンケート用紙、上狛川クリーン作戦報告、2012.7.14上狛川の水質調査、第2回木津川ワークショップ(告知チラシ)、第3回山田川水ウォッチング(告知チラシ)、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	木津川出張所…チラシ印刷、プリント類の印刷、パックテスト準備(COD・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素)、会場使用料
河川レンジャーの活動内容	チラシの作成、地域の関係機関訪問、記者クラブへの依頼、チラシの設置、会場の下見、コースの下見、会場申込、タイムテーブル作成、上狛川ジャンボタニシ駆除5年間の取り組み資料作成 ジャンボタニシ駆除の道具一式準 当日の運営 アンケート集約

21.3 活動状況



スクミリンゴガイの駆除



地元保全会の活動と連携



生きものの採捕



魚合わせ(出現種の確認)

21.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めて参加させて頂きましたが、ジャンボタニシと卵塊のこともびっくりしました。後は、タウナギやこの川にめだかが沢山居ることにびっくりしました。息子と二人、大はしゃぎして楽しかったです。 さかながとれてよかった。 目で見ると目に見えない汚れについて、新たに認識し直した。普段色々な川を眺める機会があるが、表面だけでは決して分からないことがたくさんあることに気づいた。 少数での取り組みで、子供もしっかり話が聞けて良かったです。 タウナギが多くて、びっくりした。
<p>成果と今後の課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年初めて山城農協より組合長が参加。 ジャンボタニシの発生が少なくなったので、町内のみで取り組むことにしたが、長年の取り組みなので他地域からの経験者の参加者もあった。続けることは大切だと再確認した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 上粕地域の住民に周知するため、区長を通してチラシの回覧をお願いしたが、実現できなかった。しかし、運営委員会の木津川市建設部管理課松下課長を通してお願いすれば実現できそうなので、来年は2カ月ほど前にチラシ作製をして回覧をお願いする。 7月はジャンボタニシの発生が少ないので、9月初めに行うことも検討する。また、上粕小学校の児童の協力が得られる方法を考える。

22. 第二回木津川ワークショップ

・平成 24 年 7 月 22 日(日)

22.1 実施状況

活動名	第二回木津川ワークショップ		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 7 月 22 日(日) 9:30~12:30		
参加人数	参加総数	40 名	
	一般参加者	28 名	大人 16 名、子ども 12 名
	講師	1 名	福富城介氏(元城陽市職員)
	協力スタッフ	9 名	山村、山田、田中河川レンジャー、やましる里山の会 6 名
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	
スケジュール	<p>9:30 開始</p> <p>9:45 講師による青谷地区の河川と治水の歴史</p> <p>10:05 河川レンジャーから木津川の砂洲や河床の変化について</p> <p>11:20 木津川キッズの研究発表</p> <p>11:50 河川レンジャーから木津川の河床低下について説明</p> <p>12:10 河川レンジャーからワークショップの説明</p> <p>12:20 ワークショップのグループ意見発表</p> <p>12:30 終了</p>		
実施場所	<p>山城大橋～京田辺市立中央公民館</p> 		

22.2 事前活動

各種資料	タイムスケジュール、木津川ワークショップだより、第二回木津川ワークショップ資料、木津川で遊ぼう魚とり(告知チラシ)、ツバメのねぐら入り観察会(告知チラシ)、灯ろう流し(告知チラシ)
関係機関からの支援内容	木津川出張所・・・チラシ、資料印刷 ワークショップ必要準備物用意 やましる里山の会・・・ホームページにチラシ掲載 プロジェクター借用 新聞社(朝日、京都、洛南タイムス)・・・周知
河川レンジャーの活動内容	<p>会場申し込み、講師依頼、打ち合わせ、現地下見 4 回、チラシ作製と配布、新聞社周知依頼、参加者募集電話、手紙発送、ワークショップたより作成、講師説明の資料、参加者名札作成</p> <p>当日の運営</p> <p>福富氏の話聞きながら竹藪、堤防、青谷地域、砂利採集の山、ワンド、木津川を見ていくと木津川と住民との関わりが生き生きと浮かび上がり、時間が足りないほどであった。子ども達の発表や田中河川レンジャーの河床低下の報告を聞くなかで木津川が抱える課題がはっきりとしてきた。しかし、内容が多すぎてワイワイマップ作製、交流が時間不足になってしまった</p>

	<p>ワイワイマップのテーマ</p> <p>一班 豊かな自然を学べる公園</p> <p>ニ班 人が川に興味を持つと川はよくなるよ!</p> <p>三班 人々と長いおつきあいの暴れ川、ワンドの復活をみんなで!</p> <p>四班 だれでもが入れる夢いっぱいの川</p> <p>五班 歴史、自然観察のできる水辺公園にしよう!</p>
--	--

22.3 活動状況



講師による青谷地区の河川と治水の歴史



河川レンジャーから木津川の砂洲や河床の変化について



木津川キッズの研究発表



京都新聞 7/23 朝刊

22.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川をいろんな問題から守るためにみんなが木津川を好きになったらいいと思いました。「魚や生きものと人が仲良く過ごす川」を目指して親子川の学校の友達と一緒にがんばりたいです。 ・子ども達の発表はすごかったです。あのレベルの内容を聞けてたいへん刺激になりました。また、どこかで報告してほしいものです。 ・木津川と言えば、植物、鳥。魚だけという感じだったのが、今回歴史的なお話も聞けて、又子ども達の発表もよかったです。 ・木津川の歴史を知りワンド、タマリの大切さと魚を多く育てる川になればと思いました。 ・木津川、山城大橋周辺の歴史的な話をまとめて聞くのは初めてです。良かったと思います。木津川を多様な方面から知ることがこれからも大切だと思います。
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的観点で木津川と河川敷きを見たのは良かった。ワークショップの目標は達成できた。 ・現地観察、子どもの水辺交流会の発表、河床低下報告など内容が多すぎた。整理して交流の時間を十分にとることが必要。

23. 「親子川の学校 in 和東川」出前授業

・平成24年8月5日(日)

23.1 実施状況

活動名	「親子川の学校 in 和東川」出前授業		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成24年8月5日(日) 9:30~12:30		
参加人数	参加総数	59名	
	一般参加者	48名	大人16名、子ども32名
	協力スタッフ	10名	山田・田中河川レンジャー、田中(元)氏、都留氏、星加氏、矢放氏、原氏、菊池氏、長谷川氏、矢島氏
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:30	開始	
	9:45	会場の受付	
	11:00	スタッフによる魚取りの指導	
	11:00	河川レンジャーから活動の注意点	
	11:00	魚採りの開始	
	11:35	水切りの指導	
	12:30	終了	
実施場所	和東町中区公民館		
			

23.2 事前活動

各種資料	水質評価シート、タイムスケジュール、親子川の学校たより、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	中地区・・・中公民館借用 木津川出張所・・・チラシ、資料プリント
河川レンジャーの活動内容	<p>現地下見3回、中地区長・和東町建設課への申し入れ、中公民館利用申し込み、チラシ作製と配布 参加者名簿作成、タイムテーブル作成 スタッフへの連絡、魚とりにいる物の準備 (網、水槽、観察水槽、魚写真) 受付机、テント、河川レンジャー旗 救急バッグ、保水液)、当日の運営</p> <p>活動の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めての参加者にはスタッフが丁寧に対応して、魚とり、水遊びを楽しんだ。例年より水位が低かったためか、魚が少なかったが、気持ちの良い川で十分に川遊びを体験できた。石のうらに産み付けられたヨシノボリのたまごが次々と見つかり、なかには目玉が見えるものもあり、初めてみた人が多く感動していた。魚とりをやめて泳ぐ子、休憩時間に水きりに挑戦する子ども、河原にいけすを作る子、それぞれが川遊びに夢中になっていた。 昨年の参加者からスタッフが誕生した。例年より水量が少ないので川岸の水草まで水が無いので魚が少なかった。逆にメダカなどの流れのないところを好む魚が確認できた。

23.3 活動状況



河川レンジャーから活動の注意点



魚とりの開始

23.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日はシマドジョウがとれてうれしかった。和東川はきれいな川だけど、もっときれいになったら嬉しいです。 ・魚は全然とれなかったけど、水で遊ぶのも楽しかったです。最後らへんにちょっとだけ泳ぎました。 ・今回は大きめの魚がたくさんとれて良かったなあと思った。 ・今日は和東川でいろんな魚をとりました。スタッフに教えてもらってシマドジョウをとりました。砂の中にかくれていました。とても元気な魚達がいって楽しかったです。最後の方でたくさん魚がとれてよかったです。また、和東川に魚をとりに行きたいです。 ・山の緑に囲まれたところでの川の学校に参加させてもらい、来るだけでも楽しい気持ちにさせてもらいました。最初のオリエンテーリングも初参加の私たちを含め皆が親しみやすい雰囲気を作ってもらえたのも良かったです。水の汚れの検査も子供は新鮮でしたし、また川に入ってから魚の取り方から、石投げまで子どもにさせてもらってとても良かったです。また、これからも日程が合えば参加していきたいのでよろしくをお願いします。
<p>成果と今後の課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和東川は安全で水質も景観も良く、魚取り、川遊びにしても最適の川で楽しい川遊びが体験できた。 ・昨年の参加者がスタッフとして今年は参加するなど成長してきている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが説明をする場面を多くしてもスタッフの力量を高める。

24. 第三回木津川ワークショップ

・平成 24 年 9 月 2 日(日)

24.1 実施状況

活動名	第三回木津川ワークショップ		
担当	木津川出張所管内	福井河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 9 月 2 日(日) 8:30~13:00		
参加人数	参加総数	46 名	
	一般参加者	35 名	大人 25 名、子ども 10 名
	講師	3 名	小川力也氏(淀川イタセンパラ検討会座長)、植田光弘氏(自然体験活動協議会インストラクター)、伊藤千恵子氏(やましる里山の会)
	協力スタッフ	7 名	山村・山田・田中河川レンジャー、やましる里山の会 4 名
	運営事務局	1 名	
スケジュール	<p>8:30 開始</p> <p>9:00 タマリで水生生物調査</p> <p>10:00 ドブガイおよびイシガイの開口調査</p> <p>10:10 魚合わせ(出現種確認)</p> <p>10:10 ブラックバスの体の解剖</p> <p>10:30 小川講師によるイタセンパラ復活への展望講演</p> <p>11:45 参加者児童による質疑</p> <p>12:30 漁協から意見発表</p> <p>12:35 参加者グループ意見発表</p> <p>13:00 終了</p>		
実施場所	山城大橋下流のタマリ～京田辺市中部住民センターせせらぎ 		

24.2 事前活動

各種資料	当日のスケジュール、アンケート用紙、木津川ワークショップだより(2012・8・1 第二号)、2012 タマリ調査、木津川のタナゴ達(以上河川レンジャー作成)、初秋の野鳥観察会、第二回木津川一斉水ウオッチンウ(以上告知チラシ)
関係機関からの支援内容	木津川市出張所・・・チラシ、資料印刷、マジック、付箋などの準備、やましる里山の会・・・マジック、投網借りる、里山のホームページ掲載 京都・朝日・洛南タイムス・・・ワークショップの周知
河川レンジャーの活動内容	講師依頼、タマリ調査・下見 3 回 チラシ作製、チラシの郵送、チラシの配布(城陽市コミセン、京田辺市図書館、せせらぎ、精華町駅通路) 資料の作成 講師打合せ、参加者名簿、名札プレートづくり 展示物資料作り タイムテーブル作成、スタッフ連絡、河川レンジャー打合せ 当日の運営 まとめ、ワークショップだより no3 作成 当日の様子 タマリ調査参加者は 8:30 より集まり親子一緒にタマリの生き物を調

べ、小川氏に 1990 年代のタマリの様子とイタセンパラの話聞いた。たくさんの魚、二枚貝が見つかり、タマリがタナゴ以外の魚の繁殖場所になっていることがよく分かった。「イタセンパラ」についての講演は、参加者の質問で生息のための環境、問題が深まったが、ワイワイマップ作製と交流の時間がとれなくなってしまった。

24.3 活動状況



小川先生と貝類観察



小川講師の講演の後参加者グループ意見発表

24.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川は淀川水系で一番最後までイタセンパラがいた川なのでイタセンパラがすめる環境をとりもどして、また戻ってきてほしいです。お話を聞いて、イタセンパラの住む環境などがよく分かったのでの環境をとりもどすために頑張ります。 ・イタセンパラ復活に必要なことがよく分かった。 <ul style="list-style-type: none"> ①貝に注目が行くがそれよりもイタセンパラ自身が生育できる環境そのものが大切。(珪藻) ②新しいタマリが好まれる。 ③貝から出て 1 カ月が生存のポイントになる。 <p>タマリプラン</p> <p>プラン 1 新しいタマリを作る、タマリの改善 (10)</p> <p>プラン 2 ブラックバス駆除 (5)</p> <p>プラン 3 密猟対策 (3)</p> <p>プラン 4 みんなに知らせる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタセンパラ出前授業を学校でする。 <p>プラン 5 河床低下を防ぐ (7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河床低下を何とか食い止めたい。その方法を考える。 <p style="text-align: right;">(かっこは同じ意見の人数)</p>
-----------------	--

<p>成果と今後の課題</p>	<p>成果</p> <p>木津川漁協、タマリ観察・タナゴ飼育者の方が初参加。貴重な意見を聞くことができた。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査と講演に時間がかかり、プランづくり・交流ができなかったことは残念。しかし、タマリとイタセンパラの現状課題がより明らかになったことはよかった。そのことがしっかりしたプランを作ることに繋がった。 ・行政関係者の参加を増やしたい。
-----------------	--

○山田河川レンジャー（上半期）活動報告

25. 平成 24 年度 活動とテーマと目的

25.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする山田河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、11の活動を実施します。

活動テーマ

その昔泉川と称された木津川、又その多くの支流が汚染増加によって流域の住民から疎遠なものとなってきている。水質調査活動を住民の方々や子供たちとともに取り組み、汚染の実態を知り、汚染原因を共に考え、自然の残る身近な河川づくりにかかわる活動を支援する。又環境学習や総合学習などの支援を通して、水環境について考え行動する力を育成する。


平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	木津川とその支流の水ウォッチング数回 木津川とその支流の水質モニタリング 木津川クリーンアップ（共同）	水質調査活動を住民の方々や子供たちとともに取り組み、汚染原因を共に考える。 「水ウォッチング」を実施するが、その対象河川の正確なモニタリングを中心にして実施していきたい。測定を行うことで、川の環境を水質という点から明確化し、環境保全の取り組みの進み具合や目標を明らかにすること。
活動地域への河川環境啓発活動	魚採り企画での水質調査出前授業 小・中学生の環境学習や総合学習等の出前授業 宇治市環境展 宇治環境フェスタ 木津川展（共同） 木津川マラソン 河川レンジャー展（共同）	川の環境保全に関心を寄せ、行動につなげる子供や保護者の育成をねらいとして出前授業を実施する。 宇治環境展・宇治環境フェスタを環境保全の大切さを考えてもらうことをねらいとして、取り組む。参加型の体験コーナー等も検討。
行政と住民のコーディネート	木津川沿川活動団体交流会（共同）	木津川とその支流流域で、昔のように綺麗で自然豊かな河川環境を取り戻す活動を行っている団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組について考え、相互の理解を深め、交流する機会を設けるために交流会を実施する。
川づくりまちづくりへの参画活動	上狛川クリーン作戦(福井河川レンジャーと共同)	上狛川クリーン作戦として、ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査・水質調査を今年度も内容を工夫しながら実施していきたい。 なお「上狛川クリーン作戦」は、昨年同様山田、福井との共同の企画である。

26. 名木川水ウォッチング

・平成 24 年 4 月 28 日(土)

26.1 実施状況

活動名	名木川水ウォッチング		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 28 日(土)9:00~12:30		
参加人数	参加総数	18 名	
	一般参加者	14 名	大人 7 名、子ども 7 名
	協力スタッフ	3 名	田中河川レンジャー、やましる里山の会田中元洋氏、吉川禮子氏
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:30	河川レンジャー名木川の概要や昨年の取り組み等説明	
	10:25	名木川にて採水の実施	
	10:25	採水時の水温測定	
	10:50	名木川ウォッチングと散乱ごみの収集	
	11:40	河川レンジャーによるパックテストの手順説明	
	12:05	参加者による水質調査報告書の解説	
	12:30	終了	
実施場所	広野公民館～名木川		
			

26.2 事前活動

各種資料	第 2 回名木川水ウォッチング資料、名木川の水質を調べましょう(調査結果記入用)、アンケート用紙、河川レンジャーNews、里山の風にふれませんか
関係機関からの支援内容	木津川出張所…水質調査用パックテスト、プリント類の印刷、小型拡声器、河川レンジャー旗
河川レンジャーの活動内容	チラシの作成、地域の関係機関訪問、記者クラブへの依頼、流域の公民館・コミセン・ふれあいセンター・西小倉図書館にチラシの設置、集合会場の下見、コースの下見、当日朝の水採取(4 地点中、2 地点は事前に汲んでおいた。)

26.3 活動状況



名木川にて採水の実施



PH の測定

河川レンジャーと
名木川の水質調査
28日、宇治で

万葉集にも歌われた宇治市大久保町を東西に流れる名木川の水質を調査しようと、国交省の河川レンジャーが28日午前9時半から、「名木川水ウォッチング」を行う。参加者を募っている。

名木川の調査は昨年に続き2回目、前回は近鉄大久保駅から下流を散策した。今回は親水公園などがある上流を、広野公民館から西に歩いて調査する。

名木川は、万葉集で柿本人麻呂が「衣手の名木の川辺を春雨にわれ立ち濡ると家おもふ



参加者による水質調査報告書の解説

告知新聞記事

らむか」と詠んだが、現在はコンクリート護岸になり、昨年の調査では水質悪化が目立ってきたという。

先着20人。申し込み方法は問い合わせは淀川河川事務所木津川出張所 ☎0774(62)0075。

26.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p><アンケートより> 6. 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーの説明を聞くと、よく理解できた。参加場所・日・時間もちょうど良い。 ・身近な生活排水をうける比率の高い小さな川を、科学的に調べる重要性を実感した。川は生き物たちのものでもあるから、汚れた水はきれいにしてから流すなどしないといけないと思う。 ・砂防ダムの役割が、今や無くなっていると思われ、水質浄化のためにダムを撤去した方がいいと思う。落差工も統合して、魚道をつけるなどの工夫が必要。 ・鳥がたくさん見れて良かったです。また企画して下さい。 ・ウォッチングで色々な景色に気づくことができ良かったです。ありがとうございました。 ・コンクリート3面張りは水路で川とはいえない。上流砂防ダムを改修し、砂を下流に補給すればよいのではないか。 ・子供と楽しめるイベントでよかったです。 ・説明を聞きながら歩くのと何気なく歩いているのとずいぶん違うものだと思います。思いの外水質が悪いのにびっくりしました。3面張りではなく、せめて2面になれば少しでも違うのでは……
<p>今後の課題</p>	<p>アンケート回収12中、楽しかった10・まあまあ楽しかった2であり、子供も含め楽しめるところがある企画となった。今回初めて水を考える南山城の会の方が参加頂けたことは、今後につながる1歩である。</p> <p>名木川には、流域で活動する環境団体が存在しないので、水ウォッチングの際に依拠できる場所がない。しかし参加者の内訳で、宇治市や城陽市・久御山町の方が多いという点では、この企画のねらいが少しは達成できているように思う。水を考える南山城の会は、宇治市を中心に活動を継続している団体であり、木津川一斉水質調査などでも連携協力ができると思う。</p>

27. 地域団体講演「環境フォーラム」出前講演

・平成 24 年 5 月 1 日(火)

27.1 実施状況

活動名	地域団体講演「環境フォーラム」出前講演		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 1 日(火) 12:30~14:00		
参加人数	参加総数	30 名	
	一般参加者	28 名	宇治ロータリークラブ会員
	協力スタッフ	1 名	宇治ロータリークラブ事務局
	運営事務局	1 名	
スケジュール	12:30	開始	
	13:20	講演会場	
	13:30	河川レンジャー講演	
	13:30	水質調査を生かした河川レンジャー活動の紹介	
	13:35	宇治川の水質について	
	14:00	終了	
実施場所	パルティール京都 宇治市宇治樋ノ尻 8 8		

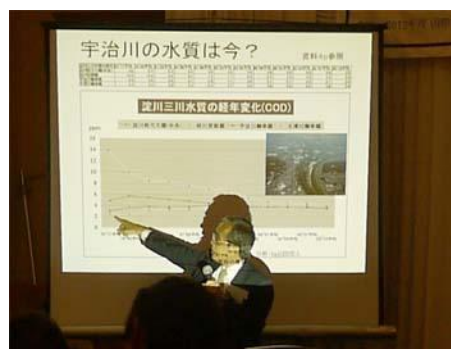
27.2 事前活動

各種資料	講演資料、アンケート用紙、河川レンジャーNews、淀川発見講座・養成講座(告知チラシ)、里山の風にふかれませんか(パンフ)
関係機関からの支援内容	木津川出張所：資料・アンケート用紙印刷、封筒・河川レンジャーNews・淀川発見講座・養成講座(告知チラシ)の提供
河川レンジャーの活動内容	宇治ロータリークラブ事務局と講演について打合せ、資料やアンケート作成、講演用パワーポイントデータの作成、会場下見

27.3 活動状況



水質調査を生かした河川レンジャー活動の紹介



宇治川の水質について

27.4 意見・課題

参加者からの意見 (アンケート)	<p>主な感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーについて初めて知って、大変有意義であった。 ・活動場所や報告場所を拡大して欲しい。 ・楽しく聞かせて頂きました。 ・河川レンジャーの活動等わかりやすき説明して頂きました。 ・活動がよく理解できました。今後も親子をまきこんだ活動を期待します。 ・河川レンジャーというものの存在を知ったことは、有意義なことでした。 ・身近なことでありながらあまり知らなかった事に改めて興味深い話をお聞かせ頂いて、ありがとうございました。 ・河川が大切である事を再認識。 ・河川レンジャーの活動が理解でき、今後は期待いたします。
今後の課題	ほとんどの方が河川レンジャーの存在すら知らなかった状況であり、今回のスピーチを通して河川レンジャー活動を知って頂けたことはとても有意義であった。今後とも、地域で活動している様々な団体へ河川レンジャー活動の周知を図るために、機会を捕らえ積極的に出前授業や講演に取り組みたい。

28.「環境フェスタ in KYOTANABE」出前授業

・平成 24 年 5 月 20 日(日)

28.1 実施状況

活動名	「環境フェスタ in KYOTANABE」出前授業		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 20 日(日) 10:00～16:30		
参加人数	参加総数	32 名	
	一般参加者	26 名	大人 24 名、子ども 2 名
	協力スタッフ	4 名	山村河川レンジャー、やましる里山の会
	その他	1 名	新聞報道
	運営事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始	
	11:15	河川レンジャーによる水質調査に用いるパックテストの説明	
	11:25	パックテスト後の水質測定	
	16:10	学生たちの水質チェック体験	
	16:30	終了	
実施場所	京田辺中央公民館 京田辺市田辺丸山 214		

28.2 事前活動

各種資料	水質チェックシート、里山の植物たち、やましる里山の会案内パンフ
関係機関からの支援内容	木津川出張所…水質調査用パックテスト提供、水質チェックシート印刷 京田辺市環境課…プロジェクター・パソコン準備
河川レンジャーの活動内容	木津川出張所へ準備物(パックテスト・印刷物)の依頼 京田辺市環境課との打合せ(会場準備含め) 水質調査の説明用に、パワーポイント作成。 水質調査用のコップ・ペットボトル・温度計その他準備

28.3 活動状況



パックテストの水質評価



学生たちの水質チェック体験

28.4 意見・課題

参加者からの意見	特にアンケートは取らなかったが、パックテストによる水質調査は初めてという方がほとんどで、参加頂いた方々には喜んでもらえた。中には子供ずれのお母さんで、パックテストの購入方法を質問された方もあった。子供の課題研究として、おもしろいと思われたようだ。また、家の畑のわき水を汲んできて調べて欲しいという方もあった。
今後の課題	参加者を集めるのに努力が要った。出前授業という形なので、環境フェスタの運営の仕方まで意見を出しにくいのが、参加者集めを自分たちでしなければならないようなあり方は、今後に向けて検討して欲しいものです。同時並行で、子供たちの遊び場がいくつも開かれているようでは、まじめな環境問題での企画は人が集まりにくいので、企画場所も含めよく検討する必要がありそうだ。そうした中であって、環境フェスタに出展している大学生が多く参加してくれたのが特徴である。

29. 「古川いきもの探検」水質調査出前授業

・平成24年5月25日(金)

29.1 実施状況

活動名	「古川いきもの探検」水質調査出前授業		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月25日(金) 13:00~15:30		
参加人数	参加総数	58名	
	一般参加者	56名	校長・教師2名、4年生2クラス53名
	協力スタッフ	1名	福井河川レンジャー
	運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	開始	
	13:30	古川で採水	
	13:55	水と水質の講義	
	14:05	パックテストの手順の説明	
	15:00	水質の色評価	
	15:30	終了	
実施場所	城陽市古川小学校 城陽市上津屋境端57番地		

29.2 事前活動

各種資料	「水」調べてわかる数の見方(河川レンジャー作成レジュメ) 河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	木津川出張所…COD(高濃度用)パックテストの提供、プラスチックコップ提供、河川レンジャーNews20
河川レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・四年生向けの水質調査用パワーポイントデータ作成。 ・5/16 担任団との打合せ ・5/24 福井Rの出前授業参観と安全確認。明日の簡単な打合せ。

29.3 活動状況



試験水の準備



水と水質の講義



パックテストの手順の説明



水質の色評価

29.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>感想・意見から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> : 古川の水は魚のいる川だからきれいだと思っていたけど、きたないことを学びました。 : とても感動しました。どれだけ古川がきたないか、人がどれだけ川をよごしてきたかがわかりました。これからも古川だけでなく、いろんな川をきれいにしていきたいです。 : 水しつけんさではじめてどんなにきたないかわわかりました。 : 水は、命を守る事なんだなあと思いました。水をよごす事は、心をよごすと言う事がわかりました。 : 古川の水は、とてもきたないことがわかりました。水がきたないところにすむ魚と、きれいな水のところにいる魚がいるんだとわかりました。今日した水の調さは、とてもたいせつなことだと思いました。 : いきものたちは、きたない水でも、いっしょうけんめいいきようとしていくことがわかった。 : 水がきたないことと、魚がどんどんへっていることがショックでした。 : とてもはなしがわかりやすかったです。とてもきたない古川でもコイとかフナがいるとは、しらなかったです。 : 古川の水はきたないから、古川の水をきれいにしたいです。魚たちを守りたいから。
<p>今後の課題</p>	<p>子供たちの感想からは、水質調査を通して古川の汚れが多いことを知り、古川をきれいにし、魚たちも住みやすい古川にしたいなという思いが強くなったことが窺える。特に福井Rの魚調査と一緒に取り組んでいるので、古川の汚染と魚の生息環境とを結びつけて考える子が増えるという良い結果になっていると思われる。</p> <p>昨年時間が長かった反省から、導入のパワーポイントを工夫し、水の大切さを考えてもらえるようにしつつ短時間で終わるように工夫した。その結果、ほぼ予定時間で終えることができた。</p> <p>せっかく学んだ水質調査を今後の総合学習にどう生かしていくかが大きい課題です。そういう意味では、昨年度のように今後も担任の先生方と必要に応じて連絡を取り、連携できればと感じました。</p>

30. 「城陽キッズ魚とり」水質調査出前授業

・平成24年6月2日(土)

30.1 実施状況

活動名	「城陽キッズ魚とり」水質出前授業		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月2日(土) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	30名	
	一般参加者	20名	大人7名、子ども13名
	協力スタッフ	7名	山村・福井河川レンジャー 伊藤千恵子氏、伊藤氏、森島氏、深田氏、播川氏
	その他	2名	原靖雄氏、森田奈緒氏(主催者城陽市教育委員会)
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:10	試験水の採水	
	11:40	パックテストの手順について	
	11:45	水質の色評価について	
	12:00	終了	
実施場所	山城大橋右岸		
			

30.2 事前活動

各種資料	木津川ってどんな川?(やましる里山の会)、アンケート用紙、木津川クリーンアップ(6月17日告知)、山田川水ウォッチング(7月24日告知)、河川レンジャーNews20
関係機関からの支援内容	木津川出張所…水質調査用パックテスト(COD高濃度・アンモニア性窒素)提供、アンケート用紙印刷
河川レンジャーの活動内容	アンケート用紙作成、水質調査用器具等準備、城陽市教育委員会との事前打ち合わせ

30.3 活動状況



試験水の採水



パックテストの手順について解説



色標本による水質の水質測定



水質講座の参加者

30.4 意見・課題

参加者からの意見	城陽市教育委員会の方でアンケートを集めていたが、こちらでは把握できていない。しかし、水質調査の体験が初めてという方がほとんどで、木津川の水質汚染についても少しは関心を持ってもらえたのではないだろうか。
今後の課題	ここ数年実施されてきた企画ですが、私が出前授業をするのは初めてです。城陽市教育委員会主催ですが、企画内容等の事前打ち合わせが不十分で、突然企画内容が変更されるということも。今後も企画を継続するのであれば、事前に時間的ゆとりを持って、もう少し丁寧な打ち合わせをすることが必要だと感じました。しかし、これまでは主に魚とりしか体験していないということなので、今回は水質調査体験を通して木津川の汚染という環境問題についても考えてもらえるよい機会となったと思います。

31. 宇治市環境展

・平成24年6月11日(月)～15日(金)

31.1 実施状況

活動名	宇治市環境展		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月11日(月)～15日(金) 9:00～17:00		
参加人数	参加総数	366名	
	一般参加者	359名	
	協力スタッフ	6名	宇治市職員3名含む
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始 河川レンジャーによる展示作業(初日) 河川レンジャーによる来場者への説明(初日) 展示見学者(最終日)	
	17:00	終了	
実施場所	宇治市役所1階エントランス 宇治市宇治琵琶33		

31.2 事前活動

各種資料	河川レンジャーNEWS20、名木川上流域の水質汚染について(河川レンジャー作成)、朝日新聞連載記事「山城発見伝」、やましる里山の会紹介パンフ
関係機関からの支援内容	広報用チラシ印刷、パネルの印刷 資料「名木川上流域の水質汚染について」印刷 河川レンジャーNEWS20提供
河川レンジャーの活動内容	広報用チラシ作成、資料「名木川上流域の水質汚染について」作成、パネル「名木川の水質汚染」の作成 以前作成したパネルで、今回展示するものの準備

31.3 活動状況



会場全景(初日)



パネルを見る参加者他(最終日)

31.4 意見・課題

参加者からの意見	アンケートは取っていないが、身近な古川や名木川の水質調査に関心を示す方が多かった。色々質問される方もあった。
今後の課題	昨年は名木川の水質調査結果まとめを中心にパネル展示したが、今回は加えて古川の水質調査結果まとめや木津川一斉水ウォッチングの結果も展示できた。今後も、河川レンジャー活動で調査した内容の発信を継続することが大切である。またこうした展示を通じて、河川レンジャーの活動を知ってもらえるように一層の工夫をしたい。また、今後水質以外の内容についても、例えば「外来魚」と言ったことも展示として工夫していきたい。

32. 「上狛川クリーン作戦」水質調査出前授業

・平成24年7月14日(土)

32.1 実施状況

活動名	「上狛川クリーン作戦」水質出前授業		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年7月14日(土) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	19名	
	一般参加者	15名	大人12名、子ども3名
	協力スタッフ	2名	福井河川レンジャー、福井さえ子氏
	その他	1名	農協職員
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:45	現地での採水	
	11:35	水質パックテストの説明	
	11:45	パックへの注水作業	
	11:45	水質の評価	
	12:00	終了	
実施場所	上狛川～木津川市役所山城支所		
			

32.2 事前活動

各種資料	上狛川ジャンボタニシ駆除5年間の取り組み、アンケート用紙、上狛川クリーン作戦報告、2012.7.14上狛川の水質調査、第2回木津川ワークショップ(告知チラシ)、第3回山田川水ウォッチング(告知チラシ)、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	木津川出張所…チラシ印刷、プリント類の印刷、パックテスト準備(COD・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素)、会場使用料
河川レンジャーの活動内容	チラシの作成、地域の関係機関訪問、記者クラブへの依頼、チラシの設置、会場の下見、コースの下見、当日朝の水採取(4地点)、パックテストによる水質調査の諸準備

32.3 活動状況



現地での採水



水質パックテストの説明



パックへの注水作業



水質の評価

32.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>主な感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンボタニシのことも知らず、こういう生き物がいるだけで、悪影響が出ることがあるのを知り、勉強になりました。 ・ 今日、魚や田ウナギがとれて、楽しく、うれしかった。 ・ 上粕川に限らず、川に対して無関心の人が多いと思いました。 ・ 水質があまりよくないと感じました。・ ジャンボタニシが多すぎ！ ・ 昔どこの川もきれいな川が多かったように思います。今も昔のようにきれいな川があるだけで、気持ちも良いですねえ。 ・ 子供たちが気軽に遊べる川になるようにしたい。そのためには、自分の周り子供たちに川の大切さをアピールしていきたい。 ・ 初めて参加させて頂きましたが、ジャンボタニシと卵塊のこともびっくりしました。後は、田ウナギやこの川にめだかが沢山居ることにびっくりしました。息子と二人、大はしゃぎして楽しかったです。 ・ 目で見ると目に見えない汚れについて、新たに認識し直した。普段色々な川を眺める機会があるが、表面だけでは決して分からないことがたくさんあることに気づいた。
<p>今後の課題</p>	<p>昨年共催して頂いた上粕川を美しくする会が、諸事情で今回は参加できず上粕東部農地・水・環境保全会のみとの共催となった。地域連携を深めていきたいと考えていただけに残念であった。</p> <p>ジャンボタニシ駆除も、今年で六年目。この間ジャンボタニシ駆除用農薬スクミノンへの公的補助の実現などもあり、ジャンボタニシそのものは大幅に減少してきており、次年度に向けて今後の課題や取組のあり方を検討する時期に来ているようだ。</p>

33. 第三回山田川水ウォッチング

・平成24年7月24日(木)

33.1 実施状況

活動名	第三回山田川水ウォッチング		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年7月24日(木) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	28名	
	一般参加者	18名	大人15名、子ども3名
	協力スタッフ	1名	やましろ里山の会伊藤氏
	講師	2名	生駒市下水道局職員
	連携団体関係者	4名	精華町ネットワーク会議会長前田氏、生協環境委員会
	その他	1名	新聞報道
	淀川河川事務所	1名	
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始	
	10:05	山田川の湛水区間と減水区間	
	10:10	山田川と権谷(ごんたに)川の合流点確認	
	10:20	生駒市下水道局による下水処理の説明	
	10:40	下水処理に関する参加者からの質疑	
	10:45	沈殿槽ほかの見学	
	12:10	河川レンジャーによる水質の講評	
	12:30	終了	
実施場所	柘榴集会所～山田川～権谷川～山田川浄化センター～柘榴集会所		
			

33.2 事前活動

各種資料	当日進行プログラム、山田川とその支流乾谷川の水質汚染について、山田川の夏の水質を調べましょう、アンケート用紙(以上河川レンジャー作成)、生駒市公共下水道パンフレット、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	・精華町乾谷区(集会所使用許可 他)・淀川河川事務所(水質調査資料提供 他) ・やましろ里山の会(水質調査器具貸与、スタッフ協力 他)
河川レンジャーの活動内容	チラシの作成、河川レンジャーのホームページへの掲載依頼、精華町の関係機関訪問、会場の申込依頼と下見、コースの下見、配布用の各種資料・アンケートの作成、当日朝の水採取(5地点のすべてを事前に汲んでおいた。)

33.3 活動状況



生駒市下水道局による下水処理の説明



下水処理に関する参加者からの質疑



パックテストでの水質測定



COD の水質判定

33.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>当日書いていただいたアンケートから、主な感想・意見を抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れがひどいので、住民が意識して川をきれいにするように声をかけていかなければと思った。良さは、川に住む鳥や生物(アメンボウなど)が見られて、散歩を楽しめること。 ・このような取組を通して、水のことを考える人を増やすことが大切だと思います。自分も汚しているんだということが分かれば、日常生活の中で気をつけることが増えるのではないかと思います。 ・浄化センターでの話しの通り、生活の中で排水時、意識して汚染源をなくすようにしなければならない。 ・魚影がほとんど見えない。 ・いろんな生き物が増えるよう美しい川に ・山田川浄化センターに入る私達の汚水を、センターでの説明を守って生活排水を汚さないようにしましょう。 ・上流に住んでいる者として、汚水に気をつけること。 ・山田川にも、セキレイ・カワセミなどが観察されて、もっときれいにする必要を感じた。山田川浄水場の活動の様子が理解できた。 ・浄水処理場で説明を聞いたことが、良かった。 ・安心して、川遊びができる川にしたい。
<p>今後の課題</p>	<p>前回の反省の上に、共催団体の精華町環境ネットワーク会議と丁寧にやりとりをしながら企画を進めた結果、参加者が増加した。</p> <p>初めて山田川浄化センターという排水処理施設の見学を組み入れた点も増加した背景になっている。京都府以外の生駒市からも参加者があったのは、浄化センター(所在地が生駒市)への関心からと推定される。</p> <p>また今回初めて、夏休みなので平日に実施したが、意外に小学生の参加もあり、今後の活動日を検討する際の参考になった。</p> <p>今回のアンケートには、特に浄化センター見学や水質調査体験の結果、自分たちの出す生活排水についてあらためて考えたというものが多く見られた。今後も「川遊びができる川にしたい。」という願いに応じて、工夫しながら活動を続けていきたい。なお今夏の水質調査は、昨夏とほぼ同様の結果だが、浄化センター前排水路以外は、汚れがどこも増加していることがやや気になる。次回の冬は、希望もあり野鳥や植物観察に重点的に取り組む内容で実施する方針である。</p>

34. 「親子川の学校 in 和東川」水質調査出前授業 ・平成24年8月5日(日)

34.1 実施状況

活動名	「親子川の学校 in 和東川」水質調査出前授業		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成24年8月5日(日) 8:30~12:00		
参加人数	参加総数	59名	
	一般参加者	48名	大人16名、子ども32名
	協力スタッフ	10名	福井・田中河川レンジャー、田中(元)氏、都留氏、星加氏、矢放氏、原氏、菊池氏、長谷川氏、矢島氏
	運営事務局	1名	
スケジュール	8:30	開始	
	9:00	和東川での採水	
	9:45	会場まへの受付	
	10:05	河川レンジャーによる和東川の水質チェックの手順について	
	10:35	パックへの注水作業	
	10:35	水質の評価	
	12:00	終了	
実施場所	和東町中区公民館		

34.2 事前活動

各種資料	水質判定シート、タイムスケジュール、親子川の学校たより、河川レンジャーNews21
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所…パックテスト支給、水質クイズ印刷とラミネート
河川レンジャーの活動内容	COD低濃度用パックテスト・アンモニア性窒素パックテスト、水質調査用ペットボトル・紙コップ・温度計・pH計の準備・調査結果記入用紙準備 水質クイズの作成

34.3 活動状況



和東川での採水



河川レンジャーによる和東川の水質チェックの手順について



パックへの注水作業



水質の評価

34.4 意見・課題

参加者からの意見	和東川は見かけ上はとてもきれいなので、CODが4ppmとやや汚れがある水質だったことに驚いた方もおられた。汚れは、水に溶けると見えなくなってしまうものもあるので、見かけで判断できないことを説明した。
今後の課題	<p>これで3年間継続して和東川を測定したことになる。CODのみで見ると3ppm→4ppm→4ppmという変化であり、汚れの総量が増加傾向にあるように見えるが、水質は天候や時刻で変化することからその判断は今後の継続で検討すべきものである。それよりも3年間の平均で現状の汚染を考察する方が、天候や時刻の変化を相殺し、より妥当と考えられる。COD平均値3.7ppmからは、和東川は汚れが多いとまでは言えないが汚れがあると判断できる。</p> <p>単純な経年変化で汚れが増加傾向という点について今後しっかり見ていくための最大の課題は、調査を継続することである。</p> <p>また今回の水質調査は、昨年同様に事前に水汲みをしており、スタッフの協力で中区公民館の広い部屋で机を出し、必要なものを机の上に配布するなど、準備をしっかりと実施した。お陰でスムーズに終了できた。</p>

35. 第二回古川水ウォッチング

・平成 24 年 9 月 15 日(土)

35.1 実施状況

活動名	第二回古川水ウォッチング		
担当	木津川出張所管内	山田河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 9 月 15 日(土)9:30~12:30		
参加人数	参加総数	25 名	
	一般参加者	19 名	大人 15 名、子ども 4 名
	協力スタッフ	3 名	古川を美しくする会、水辺で遊べる古川をつくる会、やましる里山の会
	久御山町職員	1 名	環境保全課
	その他 運営事務局	1 名 1 名	城陽市議会議員 1 名
スケジュール	9:30	開始	
	9:45	第 1 回の振り返り	
	10:40	捕獲した魚の観察	
	10:50	古川ゴミ掃除の活動紹介	
	11:55	水質試験の判定	
	12:10	採水 8 地点の水質評価	
	12:30	終了	
実施場所	城陽市北部コミュニティーセンター 城陽市平川広田 67		

35.2 事前活動

各種資料	古川水ウォッチング資料 1・資料 2、古川だより(古川を美しくする会)、水辺で遊べる古川をつくる会紹介、アンケート用紙、第 2 回木津川一斉水ウォッチング告知チラシ、河川レンジャーNews、里山の風にふれませんか
関係機関からの支援内容	木津川出張所 バックテスト提供、チラシ印刷 やましる里山の会 スタッフ派遣
河川レンジャーの活動内容	共催団体と事前の打ち合わせ 2 回 チラシ作成・配布 記者クラブなどへの広報活動 採水の依頼 水質調査の試薬等準備

35.3 活動状況



古川護岸の植物や城陽排水機場の説明



水質試験の判定

告知板

◆古川水ウォッチング 15日
9時半〜正午、城陽市平川広田
の北部コミュニティセンター集
合。古川の流域を久御山町域ま
で散策し、8カ所程度で水質調
査をする。無料。筆記用具、飲
み物持参。先着30人。希望者は
12日までに河川レンジャーの山
田さん(090・83385・8
726)へ。

古川水ウォッチングの参加募集

本津川管内河川レンジャー主催の古川水ウォッチングが9月15日(土)午前9時半〜12時に開催。集合場所は城陽市北部コミュニティセンター(同市平川広田57)。30人(先着順)の参加者を募集している。参加無料。

河川レンジャーは川を教える、木津高ス・参加人数を記入し、校化学クラブの元顧問、国土交通省木津川出張所(FAX0774-6210074)に提出し、現在木津川の水質調査活動などを続けてい6210078)まで。

当日は、1部は川沿いの城陽市域散策を鑑察を専門家の話を交えながら実施。その後バックテストと呼ばれる簡易の水質調査を河川の現状について学ぶ。

参加申込みは所轄の山田信人さん・氏名・メールアドレスを記入し、河川レンジャーに提出し、校化学クラブの元顧問、国土交通省木津川出張所(FAX0774-6210074)に提出し、現在木津川の水質調査活動などを続けてい6210078)まで。

小学生以下は保護者同伴。問い合わせは木津川管内河川レンジャー山田信人さん(☎4319640)または木津川出張所(☎6210074)へ。問い合わせ先(☎6210074)へ。

朝日新聞 2012. 9. 8

洛南タイムス 2012. 9. 12

35.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>主な感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活排水の問題の一方で、たくさん動物が生息していることが良いなと思った。 ・河川周辺の草花についても教えて頂いて、とても勉強になりました。 ・古川を美しくするため、川にゴミをすてない。水質を良くするには、下水道の整備・排水処理設備の整備、水生動物を生かすにはどうすればよいか考えなくてはいけない。 ・清流のような川にしたい。そのためには、ろ過装置などを付けるといいと思います。 ・今後の整備計画では、古川の拡幅や川底を低くすると聞いたことがあるが、特に荒州付近の自然が豊かな状況がどうなるのか心配です。子どもたちが遊べる自然豊かな状況を保全して欲しい。整備計画を進める際、地域や住民の意見をしっかり聞いて欲しい。 ・川の周りに草が色々はえていた。川は、入れる程きれいではないので、きれいにして入れるようにしたい。古川にいる生物もたくさんいて、興味が持てた。 ・日頃車で通りすぎるところを歩いて良かった。 ・子どもの頃、古川で遊んだことを「夢」のように思い出します。やはりきれいな川が欲しいです。
<p>今後の課題</p>	<p>企画のねらいの一つに古川の上流から下流をつなぐということがあるが、昨年の古川を美しくする会(久御山町)に続き、今回は城陽市域の水辺で遊べる古川を美しくする会も共催団体に加わったことは大きな前進である。又昨年に続き、今回の水ウォッチングでも、町の行政関係者に出席頂いた。京都府北土木事務所関係者にも出席をお願いしたが、府南部豪雨被害への対応のため残念ながら欠席となった。今後ともこの取り組みが、住民の川への願いを少しでも行政に知って貰える機会となるように、工夫していくことが大きな課題である。</p> <p>又今回の企画では、流域の散策と観察に取り組んだ。川の問題点のみでなく、残された自然などを含めた良い点を理解することも重要であると考えたからである。</p> <p>なお水質調査の結果は、ほぼ昨年と同様の傾向となり、今後とも継続調査していく必要がある。</p>

○田中河川レンジャー（上半期）活動報告

36. 平成 24 年度 活動とテーマと目的

36.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする 田中河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、1 2 の活動を実施します。

活動テーマ

大好きな木津川だから、より多くの人に「来てほしい」「知ってほしい」「好きになってほしい」。そのために地域と行政と連携・協力しながらともに汗を流し、木津川の川環境をまもりたい。木津川のすばらしさをより多くの人に発信したい。また今年度は木津川で起きている河床低下の現状を把握し、これからの「いい川づくり」につなげたいです。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	活動1 川の自然観察会…野鳥 活動2 木津川クリーンアップ (共同) 活動3 イベント併設10分間 クリーンアップ (活動1に併設) 活動4 近畿子供の水辺交流会発表の ための山城大橋ワンド継続調 査(生き物、地形、水質)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会を実施することにより、木津川の豊かな自然環境を実感し、次世代へ継承することの重要性を学び伝えていきたい。 ・「イベント併設10分間クリーンアップ」は、自然観察会で木津川に来た方々にゴミ問題に気づいていただきゴミのポイ捨てを許さない気持ちを持っていただくため、自然観察会に併設して実施する。 ・木津川管内河川レンジャーの川の活動に参加する子ども達で、近畿「子どもの水辺交流会」に参加しています。「木津川は、川ガキたちの遊び場だ！」のテーマのもと、元気に木津川での水辺活動をアピールします。
防災・救援・救難の推進を図る活動	活動5 親子水辺の安全講習会 出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・川で遊べる好ましい環境ではあるが、他方で常に水難事故の危険をはらんでいる川であるともいえる。川で、水難事故に遭わないためには、川から離れるのではなく、川の危険個所や身の守り方について、自ら学ぶ必要がある。そこで河川レンジャーとして、「親子水辺の安全講習会」を実施し、川での危機管理意識を高め、自信と責任を持って川に入れる人を増やす。

活動分野	活動名	活動目的
河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動	活動6 川の構造物見学会 (流れ橋工事現場見学会、 その他随時) 活動7 上流域との交流 木津川源流探検 活動8 木津川展 (共同) 活動9 木津川マラソン 河川レンジャー展 (共同) 活動10 近畿子どもの水辺交流会 での発表	・樋門や排水機場など、見慣れている構造物であるが、どんな目的で作られているのか詳しいことは一般には知られていない。目的、役割を知ることにより、災害に対する意識を高め、水の恵みを享受できる仕組みを学ぶ。 ・過去、木津川は三重県の上流部に甚大な被害も出ており下流部の京都府南部や大阪平野の洪水被害をも防いでいる。このことを下流の我々はもっと学ぶ観点から、上流域との交流を行う。 ・近畿「子どもの水辺」交流会は、「身近な水辺活動を広く発信し、『水辺』への関心、上下流、・府県間など『水辺』に関わる子供たちの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指す」ことを目的とする。
行政と住民のコーディネート	活動11 木津川沿川活動団体交流会 (共同)	木津川とその支流流域で、昔のように綺麗で自然豊かな河川環境を取り戻す活動を行っている団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組について考え、相互の理解を深め、交流する機会を設けるために交流会を実施する。
川づくりまちづくりへの参画活動	活動12 木津川の河床低下モニタリング・ヒアリング調査	・近年、木津川のどの地点でどのような河床低下が起きているのか、昔と今ではどう違うのか、それによって環境や利水にどのような影響が出ているのか、モニタリングやヒアリングをおこないデータを収集し、それを蓄積して分析することにより、木津川沿川で様々な視点で川や砂を見てきた人々をつなぎ、木津川をいい川にするきっかけを探す。

37. 川の構造物見学会

・平成 24 年 4 月 21 日(土)

37.1 実施状況

活動名	川の構造物見学会		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 21 日(土) 9:30~12:30		
参加人数	参加総数	44 名	
	一般参加者	36 名	大人 25 名、子ども 11 名
	講師	5 名	堀本副室長、新主査 (京都府山城北土木事務所) 森口 課長 (玉井建設(株)) 福原 土木部門長 ((株)巖建設) 谷口 理事長 (NPO 法人京・流れ橋食彩の会)
	協力スタッフ	2 名	山田河川レンジャー
	運営事務局	1 名	やましろ里山の会 伊藤氏
スケジュール	9:30	開始	
	10:00	河川レンジャーから見学会主旨説明、現地見学講師紹介、関係者紹介	
	10:25	現地見学と説明	
	11:25	四季彩館で座学	
	12:00	アンケート記入のお願い	
	12:30	終了	
実施場所	(場所) 四季彩館、流れ橋 (上津屋橋) 復旧工事現場		

37.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・当日プログラム ・説明資料「流れ橋パンフレット」、「昨年 9 月の流出状況写真」、「京都の道パンフ」 ・アンケート、河川レンジャーNews、河川レンジャー活動チラシ、NPO やましろ里山の会チラシ・パンフ ・本物の、「流れ橋」で使用していた木材端材 (カット済)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府山城北土木事務所 (工事請負業者様含む) 流れ橋および復旧工事の解説、見学備品貸出、資料提供 ○四季彩館 室内会場提供、駐車場使用許可、語り部講師派遣 ○やましろ里山の会 スタッフ協力 ○淀川河川事務所 のぼり貸与、資料提供
河川レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府山城北土木事務所 (工事請負業者様含む) 各種調整と打合せ ・語り部講師打合せ ・会場手配 ・チラシ作成と配布

37.3 活動状況



現地見学（担当者による工事概要説明）



現地見学（橋脚の構造について説明）



現地見学（橋脚の構造について説明）



室内にて見学の振り返りと質問

37.4 意見・課題

参加者からの意見

アンケート回答数 27

●流れ橋復旧工事の現場見学という貴重な体験ができて興味深かった。流れ橋が流れると、見学者が増え、四季彩館が儲かるという話が現実的で楽しかった●先人の知恵を感じた●資料・説明が丁寧で親切な説明会でした。橋の下までいって構造を説明していただきいい経験になった●昨年の台風では流量が日ごろの洪水と比べて多くなかったのに流れ橋が流出したようなので、その原因がとても気になる。流木等のゴミが原因の一つのように話されていましたが、木津川の河床低下、滞筋の固定化もかかわっていたのでは。木津川らしさが失われる事のないよう川の保全・整備がなされればいいと思います●中央部まで工事区間を見られて貴重な体験をさせてもらった●木津川に関することを知りたくて参加した。今まで珍しい橋だと漫然と見ていたが、今回色々な事が分かった●見学にあたって行政・業者等との調整も大変だったと思います。このような催しをありがとうございます。一昨年の実施の時に比べて、色々な地区から参加されていた方が多かったです。地道な努力がより広く関心を広げておられるように感じました●経済性・利用効果などから必要性を考え永久橋にすべきではないか●元々水や川が好きなので、とても興味深かった。5歳の子どもには少し難しかったかな…？工事が終わったらゆっくり渡ってみたい。貴重な体験をありがとうございます●治水・景観維持・生活の利便性…橋の復旧だけの問題と捉えず広く議論していく必要がある。『川と人との共生』とは…●木津川下りが楽しめたら面白いなあと思う●パネル等の展示もしていただき分かり易かったです。●『流れ橋』というものを初めて知りました。流すという逆の発想がとてもおもしろかったです。ヘルメットをかぶれたのも嬉しかったです（以下、子どもの感想）●めったに入れない工事中の流れ橋に入れたし、工事のようすがわかった●橋の上ののりてたのしかった。話はむずかしかった●橋の上を歩いていたら、けっこうゆれていて風がきつかった。いろいろな道具がたくさんありました。いつからきけんな川になったのかなあ？

今後の課題	<p>木津川は日本でも有数の砂河川です。しかしその豊かな砂洲や砂浜を形成する砂が減っている。上流のダムや砂防ダム、堰堤、天井川の浚渫などの影響で木津川に流入する砂の量が減った。また昭和の高度経済成長期の建設ラッシュ時には下流の淀川や木津川でも川砂の採取があった。上流で砂を止められ下流で取られ、その影響で砂の総量は細り、川底が低くなってしまいう「河床低下」に木津川も陥っている。具体的には旧・御幸橋の橋脚では80年で約4m、京田辺を城陽を結ぶ近鉄鉄橋橋梁では80年で約2.5m。地元の谷口さんのお話でも流れ橋の橋の上から子ども時代は飛び降りて遊べた、ということは今より相当河床が高かったのだろう。かつて木津川には夏になると砂浜の水泳場が開かれた。昔の豊かな砂浜のあった木津川の記憶がなくならないうちに、木津川の砂を取り戻す取組みをしなければ、と思う。</p>
-------	---

38. 山城大橋ワンド継続調査(上半期 6 回)

・平成 24 年 4 月～9 月

38.1 実施状況

活動名	山城大橋ワンド継続調査(上半期 6 回)		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 28 日(土):14:00～17:00 平成 24 年 5 月 19 日(日):14:00～18:00 平成 24 年 5 月 27 日(日):14:00～16:30 平成 24 年 6 月 24 日(日):14:00～17:00 平成 24 年 7 月 15 日(日):10:00～17:00 平成 24 年 9 月 2 日(日):13:30～16:00		
参加人数	参加総数		70 名
	一般参加者		42 名
	河川レンジャー	田中河川レンジャー 6 回のべ 6 名	6 名
	協力スタッフ	4 月 28 日(土): なし 5 月 19 日(日): 5 名 (やましる里山の会: 原氏、菊池氏、長谷川氏、都留氏、田中氏) 5 月 27 日(日): 5 名 (福井河川レンジャー、やましる里山の会: 長谷川氏、都留氏、姫野氏親子) 6 月 24 日(日): 2 名(菊池氏、田中氏) 7 月 15 日(日): 2 名(菊池氏、都留氏) 9 月 2 日(日): 2 名 (やましる里山の会: 原氏、長谷川氏)	16 名
	運営事務局	6 回のべ 6 名	6 名
スケジュール	4 月 28 日の場合 (そのほかの日は割愛しました)		
	14:00	開始	
	14:30	河川レンジャーから水際の変化について説明	
	14:50	参加者によるわんど観察	
	16:15	木津川本流と支川の合流地形の観察	
	16:30	わんどでコイの追い込み	
	17:00	終了	
実施場所	山城大橋下流右岸ワンド (5 月 19 日のみ山城大橋下流左岸の派流) 7 月 15 日は木津川流域センターにて特定外来種の解剖、発表練習		
			

38.2 事前活動

各種資料	4 月 28 日(土): 「子どもの水辺」ニュース
	7 月 15 日(日): 「子どもの水辺」発表リハーサル用パネル、ポスター一式
	9 月 2 日(日): 水辺ニュース 19、20(メール配信資料)
支援内容	4 月 28 日(土): 淀川河川事務所よりライフジャケット、河川レンジャーNews
	5 月 19 日(日): 淀川河川事務所よりライフジャケット、河川レンジャーNews
	5 月 27 日(日): 淀川河川事務所よりライフジャケット
	6 月 24 日(日): 淀川河川事務所よりライフジャケット

河川レンジャーの活動内容	<p>7月15日(日)：淀川河川事務所よりライフジャケット 9月2日(日)：淀川河川事務所よりライフジャケット</p>																																												
	<p>4月28日(土)：山城大橋ワンドの今シーズンの大きな変化は、井手町かの回らの乗越川の流が下ノ浜樋門工事終了により復活した事。昨年からの環境変化にともなった地形と生物相の変化を確認した。乗越川からワンドに入る所のタマリで子どもたちが協力して大きなコイの追込み漁をした。オイカワ、カワムツの稚魚を多数確認。</p> <p>5月19日(日)：こは山城大橋ワンドの対岸にある砂洲の間にある派流がどんな所か、調査に行ってきた。本流の水位が低く派流に水が入ってきていないため、干上がっている箇所がみられた。</p> <p>5月27日(日)：GWの後半の雨以降降雨の無い時期で、木津川は渇水状態。ワンドにはフナの稚魚が多数群れていた。ワンドの砂を使って、ワンドと本流の水位と水の伏流、河床低下を子どもに説明した。</p> <p>6月24日(日)：梅雨前線と台風4号の影響の雨で22日(金)をピークに木津川は増水。ワンドの壁が2ヶ所本流から越流しており万全の態勢で調査した。コウライモロコ、カマツカ、ムギツク、ブラックバス、コクチバスの稚魚確認。また8cm大のアユを捕獲！アユに関しては、京大防災研・竹門准教授に報告した。</p> <p>7月15日(日)：前週が大増水、この日は快晴でほぼ渇水。ブラックバス、コクチバス、ブルーギルを稚魚から成体まで多数捕獲。都留氏の指導のもと解剖し胃の中の内容物を確認した。福井河川レンジャーの「木津川WS」内で「子どもの水辺」発表をすることになり、復習を兼ねて読み合わせ練習をおこなった。</p> <p>9月2日(日)：8月14日の南山城地域を襲った大雨で、ワンドも本流との壁が1ヶ所ついに崩れた。またこれまで流されていく一方と思われていた下流合流部に新たな砂洲が出現していた。全体的に砂底傾向が強く、泥っぽい環境の好きな生き物は乗越川合流部タマリ部分に集中していた。砂地の生き物との棲み分けが進む可能性がある。</p> <p>【生物調査結果】</p> <table border="1" data-bbox="440 1155 1402 1525"> <thead> <tr> <th colspan="5">山城大橋下流</th> </tr> <tr> <th>観察項目</th> <th>魚類</th> <th>水生昆虫</th> <th>両生類</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>観察種</th> <th>種</th> <th>種</th> <th>種</th> <th>種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月28日</td> <td>6</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月19日</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>5月27日</td> <td>13</td> <td>5</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月15日</td> <td>16</td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>9月2日</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	山城大橋下流					観察項目	魚類	水生昆虫	両生類	その他	観察種	種	種	種	種	4月28日	6	3			5月19日	10	9	2	2	5月27日	13	5		4	6月24日	17	1	1		7月15日	16	3		4	9月2日	11		
山城大橋下流																																													
観察項目	魚類	水生昆虫	両生類	その他																																									
観察種	種	種	種	種																																									
4月28日	6	3																																											
5月19日	10	9	2	2																																									
5月27日	13	5		4																																									
6月24日	17	1	1																																										
7月15日	16	3		4																																									
9月2日	11			4																																									

■ワンド定点観察写真・2012年上半期（河川レンジャー撮影）



○左から 3月24日、4月1日、4月8日、4月27日



○左から
5月6日、
5月18日、
5月30日拡大



○左から 7月7日洪水、7月15日、7月29日、8月13日



左から 8月17日（ワンドの壁が崩れた拡大写真も）、8月27日、9月4日



2008年8月撮影同じ山城大橋ワンド全景

38.3 活動状況

4月28日(土)



わんどでコイの追い込み



木津川本流と支川の合流地形の観察

5月19日(土)



魚の観察活動



魚合わせ(出現種の確認)

5月27日(土)



魚合わせ(出現種の確認)



子どもたちの土木工事の様子

6月24日(日)



ワンドの壁の切れた場所



当日のワンドへの水の出入りの様子

7月15日(日)



水生生物の採捕



採捕した魚の解剖教室

9月2日(日)



ワンド出口のできた新しい砂洲にて



タウナギの観察

38.4 意見・課題

参加者からの意見	4月28日(土)
	子どもの意見
	①これからのワンドの環境変化について <ul style="list-style-type: none"> ・この前来た時よりも、砂の上に植物が多くなっていたので、これからワンドの砂丘にも植物が増えていくと思う。 ・井手から流れが復活して、かんきょうがかわった。ワンドがヘドロっぽくなくなり、砂が増えていた。陸地はセイヨウカラシナが増えた。 ②楽しかったこと <ul style="list-style-type: none"> ・飛びこみ、泳いだこと、砂風呂。コイの捕獲。セイヨウカラシナがきれいだった ・みんなでとった鯉が大きかったこと。鯉に触ったこと。想像以上にぬるぬるしてたのでビックリ。
	5月19日(土)
「ここは昔から木津川本流の水位が下がらない限り、流れのある所。流れが速いので、水のある時はオイカワ、カワムツなどが多い。流れが速すぎて、ザリガニすらいなかった」この派流に小学校時代から入っている菊池くんの話	
5月27日(土)	
①前はオイカワやカワムツの稚魚がたくさんいたが、今回はフナ。少しの時期の差で、稚魚が生まれる時期が違うことがわかった。 ②水の少ない時期でも、ワンドに井手町からの乗越川の流れがあると、水がきれいな気がする ③土木工事が楽しかった。ワンドと河床低下の関係がわかった。	

	<p>6月24日(日)</p> <p>①本流の水位が低い時よりも、とれる魚が多い。</p> <p>②洪水の時にワンドは生き物、特に泳力の弱い魚、小さい稚魚たちの避難場所になっているらしい</p> <p>③コウライモロコの稚魚が今回はよくとれた。同じワンドで4月下旬はオイカワ、カワムツの稚魚、5月下旬はフナの稚魚、6月下旬はコウライモロコが多数。継続調査をしているとワンドの生き物の発生の季節推移がよくわかる。</p> <p>④アユがとれてビックリした。天然か？養殖放流か？</p> <p>7月15日(日)</p> <p>①ワンドの水量は少なかったが特定外来種がたくさんとれた。</p> <p>②解剖教室が面白かった。胃から、もう消化がすすんでドロドロになっている物、エビの頭部・昆虫の足・魚の目玉らしきものが出てきた。</p> <p>9月2日(日)</p> <p>①ワンドから本流への水路、前は底が泥で深い所もあったが、今は全体的に砂が入って浅くなった</p> <p>②ワンドが本流とつながってビックリした</p> <p>③乗越川からの水の流れに加えて、今回本流からの流れが入り、ワンドに強い水の流れが復活した。7年、8年ぶりだ。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>4月28日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから秋まで、川に入る活動のオンシーズン中を通して、「子どもの水辺」交流会発表のためのデータを採取する目的で「山城大橋ワンド継続調査」をおこなう。 <p>5月19日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもワンドから見える対岸の派流。魚とりできる場所か検証した。通常は流れの早い所なので、今度はもう少し水位の高い時に来たい。 <p>5月27日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは魚とり以外にも、ワンドの砂を使った造形「土木工事」が大好き！川の3作用、堤防や放水路の作成、水位、伏流、河床低下まで、いきた素材で学習できた。今後も遊びながら川を学ぶ話題提供をしたい。 <p>6月24日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査で水が入って壁の切れた箇所2ヶ所と出口2ヶ所を観察した。毎回同じ箇所でも水の出入りがある。今年の梅雨や台風シーズンの出水でこれをくりかえす事により、ワンドの地形は変化するのか？モニタリングを続けたい。 <p>7月15日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの水辺」発表のメンバー親子から、新しい仲間を増やしたい、という意見が出た。夏のイベントには「水辺」の子どもたちに「水辺参加募集」のチラシ配布や勧誘してもらおうと思う。 <p>9月2日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のニュースはワンドの地形が大きく変化した事。木津川の砂移動と地形変化のダイナミズムを目撃している真最中で、リアルな川を素材として学習できることは、大きな幸せである。

39. 初夏の野鳥観察会

・平成 24 年 5 月 19 日(土)

39.1 実施状況

活動名	初夏の野鳥観察会		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 19 日(土) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	28 名	
	一般参加者	23 名	大人 17 名、子ども 6 名
	講師	1 名	植田光弘(自然体験活動推進協議会 インストラクター)
	協力スタッフ	2 名	福井河川レンジャー、田中秀行氏
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	
スケジュール	9:00 開始 9:10 参加者の受付 9:20 河川レンジャーによる活動の主旨説明と注意点 10:10 ノアザミに棲む虫たちの説明 11:00 タマリにいるイカルチドリの観察 11:00 児童参加者のスコープ観察 12:00 鳥合わせ(出現種の確認)とその生態の説明 12:30 終了		
実施場所	北河原流域センター～木津川右岸河川敷 		

39.2 事前活動

各種資料	当日プログラム、当日タイムスケジュール、野鳥観察リスト、アンケート記入用紙、淀川発見講座告知チラシ、河川レンジャーNews20号、19号、
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所 チラシ、配布物の印刷、河川レンジャー旗貸与 やましろ里山の会 フィールドスコープ貸与 朝日新聞 告知記事掲載 講師・植田光弘氏 各種説明資料持参
河川レンジャーの活動内容	<p>定点観察を続けている木津川流域センター周辺の河原も野鳥たちの楽しげなさえずりや縄張り宣言の力強い鳴き声でいっぱいのは 5 月。木津川は水辺の鳥、河川敷の鳥など様々な自然条件を満たしている。南の国からの夏鳥も到着している。初夏の爽やかな風の中、野鳥だけでなく、草花や昆虫も観察しながら木津川の河川敷全体の生態系を学習した。</p> <p>観察会は、センターでの説明後、みんなで右岸堤防上を上流に向かって歩きながらおこなった。途中で堤防をおり川原に向かい、水際の野鳥の観察に入った。これまで木津川センター周辺観察地では、4 月下旬に実施していたが、今年は 5 月下旬の開催となった。その中で気づいたのは 4 月と 5 月では出現鳥が完全に夏鳥に移行している点であった。オオヨシキリやセッカが見られ、コシアカツバメも観察できた。魚食性猛禽類のミサゴの豪快なダイビングも間近に見ることができラッキーであった。川原におりと遠目にイカルチドリの営巣(子育て)も見られ、春から初夏への季節変化が感じられた。観察できたのは 22 種。</p>

39.3 活動状況



ノアザミに棲む虫たちの説明



タマリにいるイカルチドリの観察



児童参加者のスコープ観察



鳥合わせ(出現種の確認)とその生態の説明

39.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>アンケート回答数 13</p> <p>「繁殖期なので鳴いている様子をじっくり観察できて感激した」「ミサゴの狩りが見れてカッコよかった」「鳥だけでなく野草のお話もセットでいつも楽しいです」「流れてきている一般ゴミに心が痛かったです」「子どもが身近な自然を知るきっかけになったらいいな、と思った」「子どもの頃から近所に住んでいるが、2年生の時に友達を川でなくしている。川の危険も含めて自然の素晴らしさを子どもに知らせたい」</p>
<p>今後の課題</p>	<p>定点観察の重要性を実感しており、このフィールドではこれからも観察を続けたい。河川敷の地形変化によって、観察出来る野鳥の種類が変化してきていることを記録する。</p> <p>またセンターという建物があり、雨天プログラムやトイレの使用等運営しやすい事も有り難い。</p>

40. 「京都大学角教授ゼミ」出前授業

・平成24年6月21日(木)

40.1 実施状況

活動名	「京都大学角教授ゼミ」出前授業		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月21日(木) 11:00~12:30		
参加人数	参加総数	11名	
	大学参加者	9名	角哲也教授、竹門康弘准教授、 研究員1名、学生6名
	運営事務局	2名	
スケジュール	11:00	講義の開始	
	11:05	パワーポイントを使って説明	
	12:00	角教授、竹門准教授による討議、参加学生からの感想・意見など	
	12:30	終了	
実施場所	京都大学桂キャンパスCクラスターC-1-173教室 京都市西京区 京都大学大学院工学研究科		

40.2 事前活動

各種資料	<p>パワポ資料「木津川河川レンジャー説明」「木津川の河床低下を考える」 ポスター・河床低下を考える(以上河川レンジャー作成)、 京の川の恵みを活かす会パンフ(竹門准教授) 淀川大堰魚道における2012年のアユ等魚類の遡上状況(6月15日現在竹門准教授)、やましろ発見伝、里山の風に吹かれてみませんか、河川レンジャーNews19・20</p>
関係機関からの支援内容	<p>淀川河川事務所 河川レンジャーNews等 配布物・印刷物一式 (株)近畿日本鉄道 広報部 昭和8年木津川水泳場写真使用許可</p>
河川レンジャーの活動内容	<p>この出前授業は、昨年度に木津川河川レンジャー共同企画で開催した「木津川沿川活動団体交流会」にて基調講演いただいた京大防災研究所の角教授より、当時に掲示していた「木津川の河床低下を考える」という田中制作のポスターについて、大学院ゼミ生に説明してほしいという依頼がきて、おこなったものである。 木津川の河床低下問題をゼミの研究テーマとされている角教授ゼミにて、現場で感じる木津川の河床低下を報告し、情報の交流をはかった。</p>

40.3 活動状況



講義の開始



パワーポイントを使って説明



角教授、竹門准教授の討議



参加学生からの感想・意見など

意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河床低下による生物相の変化がある。 →カマツカ、シマドジョウなど河床が砂の環境を好む種が減った。 ・河床低下による問題は何か。 →生物にとっての環境悪化と、治水でも構造物、堤防の補強につながる、河川管理上の課題 ・担当の自己紹介。キャップストーン制度(研究室のテーマ以外に学生が自主的にテーマを設定し、1年間かけて取り組む) ・テーマ例、河川環境の変化。 →今日はイントロとしての試み。1年かけて調べまとめる。学生にとってははじめて見て聞くこと。現地に行くことが大切。 ・河床低下のメカニズム担当学生より。低下のメカニズムが生物へもたらす悪影響はなにか。 →たとえば、カワラバッタは樹林化すると減る。トノサマバッタは草地にいるので影響がない。しかし全国的に希少なものはカワラバッタ。価値観をどこに置くか。希少種が生きていける状態が生物多様性が守られている、ということ。 →水位の変化を受ける区間を水陸移行帯とよぶが、河床低下により、断面形の勾配が緩傾斜から急傾斜になることで、物理的に移行帯の面積が減少する。その区間に依存して生息・産卵する水辺の生物相や個体数が影響をうけて減少することが悪い点といえるのではないか。 →生物の多様性としての河原の砂、野草などは木津川の河川環境にとって重要。先日、水陸移行帯である砂礫に見られるイカルチドリの営巣が観察できた。 ・河床低下の変遷担当学生より。高山ダムの見学など、今後ダムと付き合いっていくうえで、ダムとの兼ね合いをどう考えていけばよいか。 →現状、フラッシュ放流があり、アオコ対策などの環境負荷の軽減の取組みがある。堆砂対策は高山ダムではまだ。布目ダムではある。河川レンジャーは行政の宣伝ではないし、ダムを取り払おうという話ではない。しかしダムの運用については改善の必要がある。 →布目ダム、ダム湖の上流に小ダムがあり、砂がたまるので、砂を採ることができる。高山ダムは深いところに砂がある。 ・「子どもの水辺」の発表する子どもたちがすごい、何者なの？ →河川レンジャー活動で、親子川の学校やその他の活動の参加者のうち常連たち。交流会で発表したいという積極的な子どもたちで、数少ない木津川の川ガキたち。 ・去年からスタートした京大のキャップストーン制度。去年は木津川再生計画を立案した。1年ではテーマをしぼる。課題を河床低下とした4名。事実を知らしめる、河床の変遷、メカニズム、どんな問題、環境影響対策を考える。
-----------------	--

	<p>・田中河川レンジャーに流域委員会で発表してもらいたい。問題のありか、現場をみている。教科書的でない。説得力がある。イントロとしてとてもよかった。現地に行くまえに連携できれば。田中さんの課題として、連携していく、運動作り(実践)の立案にある。とりもどすのは価値の問題。木津川の目標像づくりの参考に、パンフレット川の恵みを生かす。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>木津川の河床低下問題は、まだ広く認識されているわけではない。木津川各地でヒアリング、モニタリングをおこない、「砂河川としての木津川の再生」を願う機運づくりが必要である。</p> <p>また角教授ゼミではこのゼミ研究を12月までに発表の形にするが、それを木津川の現場で実際に活動する方々に聞いてもらい批評してもらいたい、という希望がある。今年度下期も活動を連携していく。</p>

41. 「水辺の安全講習会」出前授業

・平成24年7月18日(水)

41.1 実施状況

活動名	「水辺の安全講習会」出前授業		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成24年7月18日(水) 8:30~10:00 (1, 2限)		
参加人数	参加総数	68名	
	一般参加者	66名	校長・教頭・教師4名、6年約60名
	淀川河川事務所 運営事務局	1名 1名	
スケジュール	8:30	開始	
	9:00	準備体操	
	9:10	教師と河川レンジャーから活動上の注意点	
	9:25	河川レンジャー活動およびライフジャケット体験の説明	
	9:30	ライフジャケット装着訓練	
	9:40	スローロープ実演・ライフジャケット装着浮上泳	
	9:55	学校カリキュラムによる着衣浮上訓練	
	10:00	終了	
実施場所	奈良市立左京小学校 奈良市左京三丁目 1-1		

41.2 事前活動

各種資料	ライフジャケットで浮いてみよう、活動計画案(以上河川レンジャー作成)、ストップ河川水難事故、淀川モバイルネット、川で楽しく遊ぼう(以上淀川河川事務所告知資料)、アンケート用紙、河川レンジャーNews、
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所よりライフジャケット大人・子ども用 河川レンジャー旗 左京小学校体育主任の先生との事前打合せ数回
河川レンジャーの活動内容	<p>目的 ライフジャケットで浮いてみる体験を通じて、川などの水辺で自分の命を自分で守る術を身につける。今回は依頼のあった奈良市立左京小学校5年生のプール授業にて、学校が指導する着衣泳体験と、河川レンジャーが指導するライフジャケット体験を組み合わせることにより、多角的に川の安全指導をおこなった。</p> <p>プログラム 授業前半を田中は担当し、①はじめのあいさつ②木津川河川レンジャーについて③川の危険箇所の説明④ライフジャケットの役割の紹介⑤ライフジャケット着用指導⑥スローロープ救助実演⑦ライフジャケットで浮く体験⑧体験のまとめ</p> <p>当日の概略 児童たちの中でライフジャケットの着用経験の有る人を聞いたが20名。聞いてみると、マリンスポーツやカヌー、ラフティングなど家族や合宿などで経験していた。パネルによる学習に対しても積極的に受け答え質問する子どもが多かった。また実際にライフジャケットを着て浮く体験では、その浮力のパワーにびっくりしていた。遊びながらトライしていたのが無理矢理沈む事。それができないと理解しライフジャケットへの信頼が増したようだった。</p>

41.3 活動状況



河川レンジャー活動およびライフジャケット体験の説明



ライフジャケット装着訓練



スローロープ実演



ライフジャケット装着浮上泳

41.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>アンケート回答数 72 ライフジャケット着用経験 有 20 名・無 52 名（川遊び、カヌー、ラフティング、釣り、海、小型船舶などで経験） ●最初は本当に浮くのかなと思ったけど、本当に浮いてびっくりした●クロールの体制でいるとひっくり返って、背泳ぎの体制にかわって命拾いだとわかった。●背中を倒したらすぐに浮いた●浮くコツがつかめた●服のままだと沈むのにライフジャケットを着たらプカプカ浮いた●もし川に落ちた時、今日教えてもらわなかったら焦っていたと思う。教えてもらって本当によかったです●ライフジャケットの着方、浮き方がわかった。●これから今日の事を思い出し、危険な場所での水の活動でライフジャケットを着ます●安全を確保するいい道具だとわかった●大切なことを教えてもらってありがとうございました</p>
<p>今後の課題</p>	<p>実は学校指導の着衣泳体験をライフジャケットの後におこなったが、ライフジャケットをやらなかった昨年より、格段に背浮きの成功率があがった！と先生方から感想をいただき、来年度以降も一緒に指導に入ってほしいと依頼を受けた。この指導方法を木津川流域自治体の小学校にも広めたいものだ。</p>

42. 「第二回木津川ワークショップ」出前講座

・平成24年7月22日(日)

42.1 実施状況

活動名	「第二回木津川ワークショップ」出前講座		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成24年7月22日(日) 9:30~12:30		
参加人数	参加総数	37名	
	一般参加者	22名	大人13名、子ども9名
	講師	1名	福富城介氏(元城陽市職員)
	協力スタッフ	9名	山村、山田、福井河川レンジャー、やましり山山の会6名
	その他	3名	城陽生きもの調査隊3名
	淀川河川事務所 運営事務局	1名 1名	
スケジュール	9:30	開始	
	11:20	木津川キッズの研究発表	
	11:45	河川レンジャーから木津川の河床低下について説明	
	12:30	終了	
実施場所	山城大橋～京田辺市立中央公民館		
			

42.2 事前活動

各種資料	昨年度の「子どもの水辺」交流会の発表ポスターとプレゼンボード 「木津川の河床低下を考える」ppt とポスター(田中河川レンジャー制作)
関係機関からの支援内容	やましり山山の会 プロジェクター貸与
河川レンジャーの活動内容	<p>・昨年の「子どもの水辺」交流会の発表は</p> <p>①山城大橋ワンドの7年間の地形と生き物の変化、</p> <p>②「親子川の学校」で鹿川に1年で特定外来魚が増加している事を知り特定外来魚駆除啓発ポスターを作って貼った話、の2部構成です。子どもたちはたくさんの大人の前で緊張しましたが、様々な感想と励ましの言葉をもらい、元気づけられました。ピンチヒッターの柘弥くんもしっかり発表できました。</p> <p>この機会を与えて下さった福井河川レンジャー、聞いてくださった皆様、に感謝します。</p> <p>・出前講座として先日京大院ゼミで発表した「木津川の河床低下を考える」をpptを使用して説明した。</p> <p>「河床低下」という言葉は、河川レンジャー間では一般的に使用しているが、まだ広く世間に知られた一般名詞ではない。それを知らせるのも河川レンジャーの役目だと思った。</p>

42.3 活動状況



木津川キッズの研究発表



河川レンジャーから木津川の河床低下について説明

42.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・緊張したが、聞いてくれた大人たちから褒められ嬉しかった。・これから今年度の「水辺」をまとめる時期に入るが、いいアドバイスをもらえてよかった。
今後の課題	「河床低下」という問題を、ワークショップ参加の木津川への意識の高い方々に知ってもらえてよかった。今後も木津川の河床低下についての問題意識の啓発が必要。

43. 「親子で木津川で遊ぼう魚とり」出前授業

・平成 24 年 7 月 29 日(日)

43.1 実施状況

活動名	「親子で木津川で遊ぼう魚とり」出前授業		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 7 月 29 日(日) 9:30~12:00		
参加人数	参加総数	202 名	
	一般参加者		166 名
	協力スタッフ		34 名
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	山村、福井、山田河川レンジャー、 原氏、菊池氏、都留氏(やましる里 山の会)ほか 28 名
スケジュール	9:30	開始	
	10:05	河川レンジャーによるライフジャケット着用の徹底	
	11:35	ブラックバス解剖の成果	
	11:40	解剖について解説	
	11:40	河川レンジャーによる木津川のクイズ	
	12:00	終了	
実施場所	山城大橋下流  		

43.2 事前活動

各種資料	スタッフメンバー、里山の風に吹かれてみませんか、魚リスト、河川レンジャーNEWS
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所よりライフジャケット貸与、「木津川クイズ」のパネル印刷加工
河川レンジャーの活動内容	魚とり会場である山城大橋ワンドの下見、継続調査 「木津川クイズ」パネルの立案作成 特定外来魚(ブラックバス、ブルーギル)解剖のスタッフお願い 当日山村河川レンジャーの「木津川魚とり」の中で、ライフジャケット着用指導、木津川クイズの実施

43.3 活動状況



河川レンジャーによるライフジャケット装着の徹底



スタッフによる解剖授業



河川レンジャーによる木津川のクイズ授業



ブラックバス等解剖して内容物の調査

43.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理担当スタッフより 「参加者の皆さんは、特に木津川本流にトラロープを越えて入ろうとする方もおらず、団体行動を守られた」 「ワンドも木津川本流への水路も深すぎず、安全に魚とりができた」 「熱中症の心配のみられる方はいなかった」 ・魚とり指導スタッフより 「魚がかかる状態で、体験した子どもやみている人たちも喜んでいた」 「人数は多かったが、積極的に魚とりする姿がみられた」 「魚とりや川での活動にある程度慣れておられそうな方も多くいて、積極的だった」 ・福井河川レンジャー 「今回の取組みでは、天候が晴天で厳しすぎて私は実施には反対したが前日の午前に田中河川レンジャーが入り開催可能と判断し、午後から私も下見に入ってワンドは縮小しているが魚はいると判断できたので、実施してよかった」
<p>今後の課題</p>	<p>2011年秋から2012年夏にかけて、山城大橋ワンドは大雨や出水により刻一刻と姿をかえている。それにともない危険の種類もその時々で変化しており、綿密な下見が毎回必要である。</p> <p>また大きな時の流れの中で、来年再来年に同じ場所で100人以上の規模の魚とりイベントができるかどうかは、どのように地形繁華するかによって不明であり、さらなる安全な魚とり会場を木津川に開拓する必要がある。が、これまで大規模魚とりを実施していた流れ橋（八幡側）は砂に埋もれて分流に水が入らなくなり（水辺交流プラザで以前国交省が手を入れた箇所）、開橋（左岸）も水衝部になり低水敷が削れていっている。安全に楽しく魚とりできるポイントが年々減っているのが実情。</p> <p>夏の中でももっとも暑い時期の開催となり、熱中症の心配もしなければならない。</p>

44. 木津川源流探検

・平成 24 年 8 月 19 日(日)

44.1 実施状況

活動名	木津川源流探検		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 19 日(日) 7:30~18:00		
参加人数	参加総数	91 名	
	一般参加者	57 名	大人 25 名、子ども 32 名
	協力スタッフ	23 名	福井河川レンジャー、西河川レンジャー(木津川上流)、廣岡河川レンジャー(木津川上流)、やましる里山の会 2 名、依那古探検隊 8 名、自然とゆかいな仲間たち 10 名
	その他	8 名	
	淀川河川事務所	1 名	
	木津川上流事務所	1 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	7:30	開始	
	8:40	遊水地センターにて開会式	
	10:10	森林浴のなか源流探索	
	14:00	シャワークライミングの開始	
	14:30	みんなで助け合って溪流歩き	
	16:35	アンケートの記入	
	17:40	上野遊水地センターにて閉会式	
	18:00	終了	
実施場所	上野遊水地センター～木津川源流域～大山田奥馬野地区～服部川古琵琶湖層群～上野遊水地センター		

44.2 事前活動

各種資料	木津川源流体験とシャワークライミング体験、当日行程表、メンバー表、班分け表、木津川情報(河川レンジャー作成レジュメ)、第 3 回木津川ワークショップ(告知チラシ)、木津川ワークショップだより(河川レンジャー作成)
関係機関からの支援内容	木津川上流河川事務所 観光バス・マイクロバス ライフジャケットヘルメット手配 印刷物 依那古探検隊 ライフジャケット貸与 各関係機関調整 自然とゆかいな仲間達 ヘルメット貸与 クライミングコース設定 木津川上流河川レンジャー事務局 観察用備品、スローロープ ヘルメット貸与・手配 大山田奥馬野地区 集会場借用
河川レンジャーの活動内容	目的 いつも親しんでいる木津川の源流域に最初の一滴を探しに行く。そして、昨年 12 月に見学した伊賀市上野遊水地で木津川に合流する服部川の最上流部にあたる馬野溪谷でシャワークライミングに挑戦し、冷たくきれいな上流の流れを体感する。この活動は、木津川上流河川レンジャーと木津川河川レンジャーの共同企画で木津川上流の親子もたくさん参加。一緒に活動し上流の住民との交流をはかる。木津川は一本。上流下流の交流が大きな流れになるように！ 事前準備 参加募集チラシ作成、現地打合せと下見 3 回、関係機関の調整打合せ、スタッフ依頼、配布物準備

44.3 活動状況



遊水地センターにて開会式



森林浴のなか源流探索



シャワークライミングの開始



みんなで助け合って溪流歩き

44.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>アンケート</p> <p>●源流探検で思いの外、空き缶やゴミが多いのに驚いた●子どもにも川の安全な遊び方を知るきっかけになるので、良いと思った●普段の川と大水の時の川等、美しい反面恐さを子どもに体験を通して学ぶ機会を増やしたい●すごく楽しくスリリングでした●子どもにも良い体験をさせる事が出来ました●川の色んな“顔”“姿”を見れて楽しく過ごせました。</p> <p>●源流体験とシャワークライミングは別の日にした方が、自然観察も出来のでは…</p>
<p>今後の課題</p>	<p>昨年の「上野遊水地見学」から2回目の開催で、木津川上流河川レンジャーと木津川上流河川事務所、上流河川レンジャー母体の依那古探検隊と協働して活動するスタイルを確立できた。今回は木津川上流河川事務所のご厚意で、下流参加者のためにマイクロバスをチャーターしてくれて木津川市発着の送迎をしていただいた。</p> <p>木津川は管理区域が笠置大橋で淀川河川事務所と木津川上流河川事務所に分担されているが、一つの流れなので今後とも上流下流の交流を継続していきたい。</p>

45. 初秋の野鳥観察会

・平成 24 年 9 月 23 日(日)

45.1 実施状況

活動名	初秋の野鳥観察会		
担当	木津川出張所管内	田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 9 月 23 日(日) 8:30~12:00		
参加人数	参加総数	25 名	
	参加者	22 名	大人 17 人 子ども 5 人
	講師	1 名	植田光弘氏(自然体験活動推進協議会 インストラクター)
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	
スケジュール	8:30 開始 9:00 活動趣旨の説明と講師紹介(活動日が雨天のため室内講義に変更) 9:10 講師による野鳥観察についてのお話 10:30 天気が晴れたので野外へ観察 11:45 室内へ戻り鳥合わせ(確認 25 種類内鳴き声は 4 種類) 12:00 現地解散・終了		
実施場所	木津川流域センターと木津川右岸 		

45.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の野鳥観察会 タイムスケジュール ・実施プログラム ・野鳥観察リスト ・河川レンジャーNews21 号
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所 チラシ、配布物の印刷、河川レンジャー旗貸与 やましろ里山の会 フィールドスコープ貸与 朝日新聞 告知記事掲載 講師・植田光弘氏 各種説明資料持参
河川レンジャーの活動内容	<p>目的 初秋は、日本や日本より北の国で子育てを終えた鳥たちが、冬を越すために、南の国へ渡っていくシーズンである。鳥たちが安心して渡りをするには中継地(フィールド)が安全でエサが豊富である必要がある。定点調査をおこなっている木津川市山城町の木津川流域センター周辺の河川敷で野鳥観察をおこないながら木津川全体のフィールドとしての豊かさを考える。</p> <p>当日の概略 前夜未明からの雨。早朝、屋外での観察を半ば諦め植田先生のご自宅に「座学」の準備をお願いする。受付開始の 8 時半になっても止む感じはないが、スマホで気象庁にアクセスして雨雲の動きを確認すると京都府南部はもう少しで晴天域に出そうであった。開催挨拶では最初は座学で、雨が上がり次第、外に出て野鳥観察をおこな</p>

うよう周知した。植田先生のお話はパネルで生物多様性の重要さと渡りの鳥の中継地としての木津川の自然の大切さを、野鳥の足、頭蓋骨の標本を用いての野鳥の生態学の話など、参加者は目を輝かせて標本に触れながら話に聞き入っていた。そうしているうちに雨も上がり、開橋上流右岸の堤防上を野鳥観察に出かけた。雨の直後ということで、野鳥が動き出しており21種を確認することができた。河川敷のかつてカワセミが見られたタマリは、この梅雨と夏の大雨で、完全に本流とつながり分流になっていた。その周辺でイソシギ、クサシギ、イカルチドリの声が聞かれ、対岸分流では魚をとるカワウの集団とおこぼれにありつくダイサギ数羽が見られた。渡り途中の鳥としては、ショウドウツバメ、コシアカツバメ、ツバメ、コサメビタキがいた。

45.3 活動状況



活動趣旨の説明と講師紹介



講師による野鳥観察についての話（スズメの幼鳥と成長の違い）



標本を実際に触って種類の違いを観察します（骨、足、翼等）



センターを出て野鳥観察へ

45.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>アンケート回答数 16</p> <p>●木津川河川敷にけっこう下りれて観察できることを知りました。楽しかったです●標本を見る事が出来、足の仕組み、爪の仕組み、クチバシ・頭の様子がわかり最高でした●カワウの群れがどのように捕食しているのかわかってよかった●キジバトの目が赤くてびっくりしました●スコープを初めてのぞきました、また子どもと一緒に参加したいです</p>
今後の課題と現状分析	<p>今回は観察地の河川敷が大きく地形を変えていた。木津川の地形や河床材料の変化と生き物の変化をリンクさせて、今後とも定点観察が必要と思った。</p> <p>今回の地形変化でタマリが小魚を含む分流になっているので、11月と2月の観察会では冬鳥のカモ類（特に魚食性）が期待できる。また砂礫川原が泥性になればシギ類も期待できる。しかし礫の大きさが細くなったことからイカルチドリにはきびしい環境かもしれない。</p>

○木津川河川レンジャー連携活動報告

46. 木津川クリーンアップ

・平成 24 年 6 月 17 日(日)

46.1 実施状況

活動名	木津川クリーンアップ		
担当	木津川出張所管内	山村・福井・山田・田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 6 月 17 日(日) 9:00~11:30		
参加人数	参加総数	26 名	
	一般参加者	23 名	恭仁大橋(大人 2 名)、開橋(大人 11 名、子ども 2 名)、山城大橋(大人 1 名)、流れ橋(大人 3 名)、木津川大橋(大人 1 名、子ども 2 名)城陽市桜堤(大人 1 名)
	その他 運営事務局	1 名 2 名	西河川レンジャー(木津川上流)
スケジュール	9:00	各実施場所集合：集合、河川レンジャーから活動上の注意・行程説明	
	9:20	ゴミ収集活動開始	
	10:20	山城大橋：収集ゴミの集積	
	10:35	開橋：収集ゴミの集積	
	11:00	木津川大橋(左岸)：収集ゴミの集積	
	11:10	流れ橋(右岸)：収集ゴミの集積	
	11:30	終了	
実施場所	木津川管内「木津川大橋・流れ橋・山城大橋・開橋」		

事前活動

各種資料	呼びかけ看板、告知チラシ
関係機関からの支援内容	木津川出張所：チラシの印刷、チラシを A3 に拡大印刷した用紙をパウチ(看板用)、杭の提供、ゴミ袋の提供
河川レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの原稿作成 ・チラシ配布 ・5/21 午前 9 時半~13 時クリーンアップの看板杭打ち ・木津川市・精華町・京田辺市の社会体育協会に参加要請 ・八幡市・久御山町の運営委員の皆さんに広報要請

46.2 活動状況



開橋：河川レンジャーから活動上の注意点



開橋：不法投棄ゴミの収集



山城大橋：散乱ゴミの収集活動



山城大橋：収集ゴミの集積場所



流れ橋（左岸）：ゴミ収集活動



流れ橋（左岸）収集ゴミ集積



木津川大橋（左岸）：ゴミ収集活動



木津川大橋（左岸）：収集ゴミ集積

46.3 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートはとっていないが、昨年もクリーンアップに参加した方から、「木津川をきれいにするため何かしたいと思い、今年も参加しました。」という積極的なご意見を頂きました。リピーターの方もおられるようで、こうした方々が気軽に参加できるよう、継続することが大事である。 ・開き橋の取り組みに精華町のウォーキングの会の方が参加されるようになって3年目になった。恒例行事になりつつある。 ・恭仁大橋付近も親子川の学校参加者が毎年、クリーンアップに協力してもらえるようになった。 ・1号線の木津川大橋の参加者からは、河川敷にある持ち帰れない不法投棄ゴミの報告があり、木津川河川事務所がゴミ収集時に回収された。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップは、誰にも意義の明確な参加しやすい取り組みだと改めて感じた。こうした活動の中で、河川レンジャーという存在を具体的に知って貰えるように工夫することが大切である。 ・拠点を決めてすることで確実に清掃することができるようになり、繋がりも出来だした。しかし河川レンジャー以外で拠点の責任者を作らないと清掃活動する場所が広がらないという点では、今回2名の方に責任者をお願いできた。今後も、核になる人を作っていく必要がある。 ・又淀川河川保全利用委員会での議論を受け、初めて河川敷の利用者への働きかけとして木津川市・精華町・京田辺市の社会体育協会に参加要請をした。申し入れが遅かったことや前夜の雨もあり、成果につながらなかったが、今後早期の申し入れも含め働きかけていくことが課題である。 ・また自治体の運営委員の皆さん（八幡市・新道課長、久御山町・奥田課長）にもご協力をお願いし、清掃ボランティア団体へのはたらきかけやチラシの配布をお願いした。今回は参加していただくまでは至らなかったが、広いチャンネルで早い段階から協力者を募る必要がある。

47. 木津川市役所ロビー展示

・平成 24 年 7 月 23 日(月)～28 日(土)

47.1 実施状況

活動名	木津川市役所ロビー展示		
担当	木津川出張所管内	山村・福井・山田・田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 7 月 23 日(月)～28 日(土)9:00～18:00		
参加人数	参加総数	296 名	
	一般来場者	288 名	大人 258 名、子ども 30 名
	協力スタッフ	5 名	渡辺義彦氏(出展者)、藤本きりゑ氏(出展者)、小川正明氏(出展者)、やましる里山の会深田氏、伊藤氏
	その他 運営事務局	2 名 1 名	観光協会職員
スケジュール	9:00	開始	
	9:25	(23 日)スタッフミーティング	
	9:55	会場設営	
	9:00	(24 日～26 日)受付開始	
	17:00	終了	
	9:00	(27 日)受付開始	
	16:00	会場片付け	
	17:30	反省会	
	18:00	終了	
実施場所	木津川市役所ロビー 木津川市木津南垣外 110-9		

47.2 事前活動

各種資料	河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	木津川夏祭り実行委員会・・・チラシ、会場許可 木津川市・・・パネル借用 山城郷土史料館、木津川市御霊神社、中津川氏・・・資料借用 木津川出張所・・・展示物印刷 大村氏、石井氏・・・写真借用 観光協会・・・ホームページ掲載
河川レンジャーの活動内容	木津川夏祭り実行委員会参加(4 月 5 月 6 月 7 月 8 月) ロビー展参加者依頼、ロビー展の計画作成、会場確認、パネル借用の申請、小川氏、藤本氏、渡辺氏との打ち合わせ 山城郷土史料館・木津川市御霊神社・中津川氏への資料借用申請 大村氏・石井氏への写真借用、泉大橋の歴史ポスター作製 開き橋の歴史ポスター作製 パネル運搬 展示中の当番表作成、アンケート用紙準備 パネル展示、水槽展示

47.3 活動状況



出展した展示パネルの解説
(木津川活動子ども有志パネル)



出展した木津川の草花パネル見学の様子



水槽展示

47.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないことが沢山あり楽しめた。 ・写真が素晴らしく感動した。 ・自然を残す必要性を感じた。 ・川の大切さを知った。 ・河床低下を初めて知った。 ・子ども達のポスターもよかった。 ・木津川の歴史、とっても興味深かった。 ・自分たちの住んでいる足元を知るという事は大切だと思いました。 <p>日々活動されている方々に敬意表します。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーいっぱいを使った植物、野鳥、魚、水質、歴史、川などの展示だったので市役所に来た人達が足を止め、興味深く見学していた。また、市役所の様々な課の方たちがのぞいてくれたことで木津川と取り組みに関心を持ってもらえた。 ・木津川夏祭りの企画に住民がいかに参加していくのかという点から考えると、地元の方に写真を出品してもらったことは、大きな成果である。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津川夏祭りに河川レンジャーとしてどういう形で参加していくのか、考える必要がある。

48. 「地域で考えよう防災」防災体験

・平成 24 年 8 月 26 日(日)

48.1 実施状況

活動名	「地域で考えよう防災」防災体験		
担当	木津川出張所管内	山村、福井、山田、田中河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 26 日(日) 9:30～16:30		
参加人数	参加総数	187 名	
	一般参加者	141 名	大人 63 名、子ども 78 名
	講師	3 名	榎永氏、福井氏(淀川資料館)、 布施田氏(精華町水害体験者)
	協力スタッフ	21 名	仁枝河川レンジャーアドバイザー、 やましる里山の会(深田氏ほか 19 名)
	その他	3 名	川西小学校校長ほか 2 名(施錠管理)
	淀川河川事務所 運営事務局	16 名 3 名	
スケジュール	9:30	開始	
	10:00	災害の歴史パネル展示コーナー	
	10:30	水中歩行体験	
	10:40	講師指導による土のう結束体験	
	12:10	榎永講師による水害時の心構え	
	13:40	今年 8 月 14 日の精華町住民水害体験について	
	14:45	河川レンジャーとたこつちで締め固め体験	
	16:30	終了	
実施場所	精華町立川西小学校グラウンド 相楽郡精華町大字北稲八間小字畑ケ田 15-1		

48.2 事前活動

各種資料	スタッフのしおり、アンケート用紙、第 3 回木津川ワークショップ、古川水ウォッチング、初秋の野鳥観察会(以上河川レンジャー告知チラシ)、水防工法の紹介、水中歩行体験施設ほかの紹介、対策本部車ほかの紹介(以上国交省告知チラシ)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府山城教育局後援 局内小学校児童へのチラシ配布 ・八幡市、久御山町、京田辺市、精華町、城陽市、井手町、木津川市 各市町後援 ・精華町教育委員会 会場川西小学校使用許可 ・精華町消防署 起震車 ・やましる里山の会 大型ハンドマイク 本部テント 鉄杭 ・淀川河川事務所 水没ドア体験など体験施設一式 テント一式、ミスト扇風機、クーラーボックス、給水器、救急セット、印刷物、パネル等展示物一式
河川レンジャーの活動内容	<p>後援申請手続き、会場の川西小学校使用申請の打合せ(川西小学校・精華町教育委員会)、土のう体験指導講師依頼、精華町消防署起震車支援依頼、企画立案、チラシ作製・印刷・各自治体教育委員会に運搬配布(八幡市、久御山町、城陽市、京田辺市、精華町、木津川市、井手町の全小学校配布のため)、チラシの各施設への個別配布、現地会場使用打合せ、前日準備作業、配布物準備、アンケート作成と集計</p> <p>当日の概略</p> <p>夏休みに秋の台風防災シーズンをひかえ、親子で災害に対する知識や心構えを学ぶという目的のもとに、夏休み中の小学校グラウンドや木津川流域センターで 6 年連続開催している活動だが、猛暑の中の活動ということで、最も心配したのが「熱中症」だった。暑くなることを予想して本部テント 土のう作りにテント、休憩用テント、資料展示、受付、ミスト扇風機を用意した。</p> <p>午前中は遠方の台風の風でしのぎやすかったが、午後は快晴で温度がジリジリ上がりテントが大いに役立った。また、スタッフが用意した「牛乳パック氷」が大変役に立ち、お茶も足りなくなると水だし麦茶で対応して、十分なる給水を確保できた。</p>

48.3 活動状況



災害の歴史パネル展示コーナー



水中歩行体験



土のうに撒き土



今年 8 月 14 日の精華町住民水害体験談

朝日新聞 2012年6月27日 朝刊 31ページ 南京都

**洪水体験などで
防災意識持とう**

精華 小学校で親子ら
流水の中歩行や土嚢作
りなどを体験する。お
いて「夏休み洪水体験」
が26日、精華町の川西小
校であった。同町や木津川
市などから親子連れら約
30人が参加。府南部豪雨
の直後だけに、子どもた
ちは真剣に取り組んでい
た。木津川流域で活動する河
川レンジャーが国交省淀川
河川事務所などの支援で毎
夏開いているもの。子ども
たちは洪水体験車で約40分

の水中を歩いた後、流水中
の歩行に挑戦。起震車では
震度7の揺れを体験した。
土嚢作りでは約10分の土を
袋に詰め、土嚢の積み方な
どを学んだ。

参加した木津川市の木津
川台小3年宮野舞さん(9)
は「水の中を歩くのがたい
へんだった」と話した。
(福川修)

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

朝日新聞 (H24年8月27日)

水中歩行怖かった

精華で豪雨 親子連れ、洪水体験。
水害の恐ろしさや防や早期避難の大切さを
災への備えを学ぶ。断念した。
が26日、精華町の川西 木津川管内河川レン
小で開かれた。親子連 淀川河川事務
れが水の中を歩くなど、所が4年前から開催
して、洪水時の危険性 山崎地域の小学生を
た。

精華町の精北小4
年 入在わかさん
(9)は「水の中が見
えないので歩きにく
かった。水害は怖い
と思った」と話してい
た。(自撮り)

ブルーの体験用蓋で洪水時の
歩行の様子を体験する子ども
たち(精華町 川西小)

参加者はブルーの
蓋で約10分歩いた。水
の中を歩くと、洪水
時の状況を疑似体
験。豪雨で水が見え
ない状態で、石やブラ
ンタ1などに注意しな
がら、つえを片手に恐
る恐る歩いた。
家のドアを壊し別
の築園では、洪水時に
屋外へ外出できるかを
試した。ドアの外側に
あるブルーの水位が30
センチの標高、約50キの
圧がドアにかなり子
どもたちが押しもほ
んどん開かず、水の力
に驚いていた。

精華町の精北小4
年 入在わかさん
(9)は「水の中が見
えないので歩きにく
かった。水害は怖い
と思った」と話してい
た。(自撮り)

京都新聞 (H24年8月27日)

48.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>●普段体験できないことができて、良かったです●この活動は災害の時に役立つので良いと思います●水の中に何が入っているのか分からないのでつえを使った。こわかった●暑いなかでの体験でしたが、災害体験の話がリアルで、もし自分が・・・と思ったらこわいです●炎天下の中、説明が少し長かった●子どもと洪水体験をして、洪水の対応方法を学ぶことができ今後の対策に役立ってる事ができそうです。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>①これで木津川市（木津川流域センター2回）城陽市 八幡市 京田辺市 精華町と5年連続夏休みの行事として実施してきた、残るは1宇治市2久御山町3井手町4和束町5笠置町6南山城村となった。継続していきたい。 ②山城大水害の体験者が高齢化して体験談を語っていただく方が見つからなくて苦慮している。 ③熱中症対策として、大型テント・ミスト・給水装置等を備品として、国交省に用意してもらえるようお願いしたい。これらは真夏・真冬・雨天の屋外での通常イベントの必要備品でもある。今年は国交省より飲料と氷の支給がほとんど無く、スタッフ全員がそれぞれ麦茶と「牛乳パック氷」を大量に作って持ち寄り、水だし麦茶も動員してしのいだ。 ④精華町の防災行事と重なったため、参加できない方も出てきた。計画を立てる時、該当自治体に行事が重ならないか調べておく必要がある。 ⑤チラシ配布は小学校を通してやっているけれど、一般住民に周知できないことが多い。該当自治体については、区長会、社会福祉協議会などにチラシ配布を行って周知していき、理解と協力をお願いしていきたい。</p>